愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月五日二十日發行

一部金參錢、一ヶ月金六錢、半年分參拾六錢、全國無遞送料
廣告料一行六拾錢
本號全部[illegible]
發行所　東京麹町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

電話番町五百二十番

愛國婦人會の目的は軍人の遺族及癈兵を救護するにあり

◎本號には會員菓子袋包裝の光景を寫したる寫眞版を附錄とせり

社說

凱旋大觀兵式

光輝は日の丸の生命なり、二千五百餘年來涵養し、蓄積し來れる國民の精神と潜力とは、近く二年間に於て大發現をなし、戰史未曾有の大行動と大勝利とを、世界の驚き呆れたる眼に突き附け置きて、玆に目出度き平和の春、櫻は匂ふ四月の三十日、陸軍凱旋大觀兵式は、帝都青山の練兵場に於て擧行せられたり、寔に空前の偉觀、千歲一遇の盛儀なりき。我等は屢々觀兵式なるものに接したり、然れども此度の如き觀兵式に遇ひたることなし生れて斯る觀兵式に遇はんなどとは、實に夢想せざる所なりき、夢か夢にあらず、我等の眼は確かなり。見渡す所廣漠たる青山練兵場は近衛及び第一師團を始め、戰時編成せられたる新設師團に至るまで其數十七、步、騎、砲、工、輜重等の各兵科の全國より殊に參集せる軍隊を以て滿たされ、先づ其數に於て觀る者の眼は眩せられ、午前九時半天皇陛下臨御あり、各隊吹奏の勇ましき喇叭の中に鳳車を軌らせられて親く千軍萬馬の裡を馳驅せる陛下の忠勇なる軍隊を覽なはし玉ふ、傳へ聞く希臘の諸神の父アポロンが天馬に車を引かせて、諸神の間を天上を驅け巡ぐるも斯くやと想はれて、現實の偉大壯嚴を目前に現はし、日の御子は光輝の本體なり、國民の生命及び活動の源泉なるの實證を今ぞ示し玉ふ、やがて陛下の御親閱畢はるや、帝國の陸軍は動ぎそめたり、步兵の運ぶ足並は恰も機を織るが如く、一糸亂れず、薄の如き劍影を白く朝日に輝かして、玉座の御前を行進す。聯隊旗こそは榮へあるものなれ、維新以來數十度の戰爭に旗は千切れ取れて縁と竿のみとなれるもの、近くは此度の戰爭に新たに賜はれる旗一ぱいの朝日の絞章を風にひらめかせるもの、其數百十有九、孰れも水ならぬ彈丸、赤血の洗禮を受けて、功名の歷史を語らざるはなし旗打物は更なり、踏む青山の土までもカーキー色の、滿洲戰地の土を敷き移したるが如く步兵、工兵踏み出す足許には、淡く低く砂塵を揚げて、夢の如く影の如く軍隊を裹み、方向轉換に走る兵士の姿を時に一人一人黑く鮮かに影繪の如く寫して、後は再び濛々、劍影獨り明滅。騎兵の姿ぞまたなく勇ましけれ、馬蹄の觸るゝ所、岩には火を切り、地には半月を印して、人獸草木慴伏せざるなきの趣きあり、揚ぐる砂塵は高く雲の如く、山の如く、大火の燃へ出たるが如く、長劍參差、蹄音戞々、馬人を乘せ人馬に乘りて有るかと見れば、隱れ、現はるれば既に彼所にあり、實にや軍隊の稻妻なり。砲兵、輜重兵の運動は始まれり、人馬、大砲、車輛、轟々殷々、砂煙は低く濃く、天地溟濛咫尺を辨せず、姿はなくして、唯音あり、喧々擾々、如是陽春和煦の日、知らず何事の起れる、彼れを軍隊の稻妻とせば、此れは軍隊の鳴神なり。日本の陸軍、步、騎、砲、工、輜重兵、全國各種の軍隊、聯隊旗（血に染み棒の折れたる）が大山滿洲軍總司令長官、兒玉參謀長、黑木、奧、乃木、野津、川村の各軍團長、各師團長以下二等卒に至るまで高く空に揚れる輕氣球隊をも加へて、日露の戰爭に臨み、惡戰苦鬪激戰難攻したる活ける帝國軍人か、パノラマにあらず、實際の軍人が、砂塵を捲き、濃煙を揚げて、滿洲を忍ぶ青山の原、日の大御子の御前を馳驅せる光景を、觀たる者は再び心に觀よ、觀ざる者は心に想像せよ現實の偉大、國民の全盛、古今の歷史に見ず、東西に匹儔なき所、叡感の程推し奉るも畏し、軍人の回想感激は如何なりしぞ、陪觀者たる我等は心中云ふべからざるの歡喜と希望とを以て此盛儀を拜觀したり。我等の拜觀したる凱旋大觀兵式は此の如き者なりき、願くは之をして過去の紀念たるのみならず、將來に於ける國民大發展の門出として、昨年十月の大觀艦式と共に、永く感銘して、國民努力の一大刺戟たらんことを。

戰利品の陳列

帝都宮城の前及び九段招魂社境内は頃日稀有の壯觀を呈せり、三十八九年戰役に於ける鹵獲品の陳列あればなり、唯鹵獲品といはゞ一挺の小銃、背嚢一個にても鹵獲品に相違なけれど、こゝに云ふは斯る小規模のものにあらず、一々數量は云はずもあれ、小銃の林數町、小銃の墻、劍鞘の柵數十、百間、小銃及び軍刀の方光塔四基、野戰砲、要塞砲、機關砲、臼砲の海豚の如く太く短きもの、鮫の如く長く逞ましきもの、數百の小山の如く積み累ねたる大小の藥莢、各種彈藥車、各種車輛の輪々相接したる間の數十町、風變りなるは無數の彈痕を留めたる貯水桶見ねば到底話しにならず、よくも取られよくも取り、またよくも並べたるものかな、而してこれが皆にあらず、此外同じき者澤山ありて、中には半分、三ツ一も出さぬもあり、小銃彈二千四百餘万、砲彈二十六万、鍬、鶴嘴、斧等の土木器具、用材、大鼓、喇叭等の出で居らざるものを合すれば、此度の戰利品の夥しきには實に驚かざるを得ず、其陳列されたるものゝみにても、如何に戰爭が古今を絕せる大規模のものたりしかを知るのみならず、其血痕を附せる軍刀、彈痕を留めたる砲身、破壞されたる車軸等を見ればまた其戰鬪が如何に激烈なりしかを想見するに足る、中には賊馬に騎して賊を趁ふ底の痛快なるものもなり、嘗ては熾熱せられたる銃身も砲身も、今は冰の冷さに返り、各々鹵獲品が、靜止休息の裡に、各其盡きざる戰歷を語りつゝあり。實に沈默の偉大、千古の好紀念たり。我等歐米に在るの日好んで古戰場を訪れ、又武器陳列館を見たり、前者にはワーテルロー、セダン、バンカーヒルの如き、後者には巴里のアンバリード、伯林のツオイグハウス、ストックホルムの武器陳列館の如き、孰れも史的感興を惹起さざるにあらざるも、年代は古し、他國の事にはあり、且大きく思ひ居りし其規模も此度の戰利品の陳列に比すれば、到底同日の論にあらず、今日といふ今日始めて、此種の世界一の陳列を我國に見るを得たり武力は國家の意志を貫徹し、國運の進長を行ふ最後の本據なり、實力なり、我等の宮城前、招魂社境内を行くとき、其陳列されたる銃劍車輛が滿洲の野に於て如何に働き、如何に取られたるかを想像し其實力の我等の身邊を圍繞して、不撓の意志と活動とを、我等に强ゆるが如き感なくんばあらず、眼ある者は行けよ、行て而して國家の實力を目擊せよ、沈默は敎訓を與ふ、況んや活動の跡たる偉大の沈默をや。

愛國婦人會評議員會議場の一部

招魂祭

觀兵式を拜觀し戰利品を觀る毎に今更忍ばるゝは戰役の軍人也、萬古無比の大捷を得たる其首功は戰役の將卒に歸せざるを得ず、即ち玆に活ける者に觀兵式あると共に死せる者に招魂祭ある所以也。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

眞正の女子教育

評議員　廣岡淺子

▲男女教育の比較　私は男子も教育すれば女子も教育して見ましたが、女子よりは男子の方が教育の仕甲斐があります、女子は少し厳格に取締つて叱るやうなことがあると、直ぐ夫れが基因て失望して善き方に心を向けることが出來ません、が其處に至たると流石に男子は意志が強くつて是れに耐へ得る力があり、益々研鑽して立派な人物になります、残念ながら今日では教育を受けたる女子よりも寧ろ教育を受けない男子の方が勝つて居るやうに思はれるのであります。

▲短所を學ぶ弊風　教育と云ふことは唯だ机の上で書籍を讀むばかりではない、人に接せば其の人の人格氣風、何れなりとも美點があらば取つて以て自分の有となすことが必要であります、然るに青年の男女は兎角美點には眼を着けずして短所のみを見習ひ、終生を誤り勝ちであります、元老諸公が國に盡す其の働き振りには着眼せずして、唯だ遊び樂む方面のみに注意を拂ひ、酒を煽ぎ遊び廻はるのを以て豪傑であるかの如く思ふて居るのは、大なる間違ひであります。

▲家庭教育の必要　女子は男子よりも性格上種々なる缺點が多くありますが、其の中でも感情的な所、嫉妬深い所、名譽心の強い所などは、皆な教育の力に依て矯正して行かねばなりませんが、夫れも學校に於て注入的に教へ込むよりは、家庭に於て一々事に當つて良否を指摘し、且つ開發的に導いて行く方が、効果多く、且つ進歩が早いやうに思はれます、故に家庭の教育を忽にしてはなりませぬ。

▲眞個の良妻賢母　相當な教育を受けて學校を卒業しても、厳格なる家庭に入つて實際的の教育を受けることが必要であります、何程學問は秀いて居ても、是れを實際に應用することが出來ねば夫れこそ實の持ち腐れ、何んの役にも立ちません、外國語も能く出來、音樂にも堪能であると云つた所で、裁縫も出來ず料理も出來ぬと云ふやうでは、到底善良なる家庭を作ることが出來ません、善良なる家庭を作ることの出來ないものは、軈て良妻賢母とは云はれません。

> ▲安養尼
>
> 安養尼は、横川の惠心僧都の妹（今昔物語には姉とあり）にて、また願西とも號せり、心柔順にして曾て嗔恚を發せず、佛法を篤信して深く戒律を持し、生涯の間に、法華經を誦讀すること數萬部、長元七年大和國吉野郡に於て入滅す、或時尼の許に賊忍び入りて、悉くその家具衣服を奪ふ、賊去るの後、室に猶ほ一領の小袖を遺せり、尼の曰く、これも取りての後は、我が物とこそ思ひつらめ、主の心許さゞらんものをばいかゞ着るべき、賊いまだ遠くはよも行くまじ、とくとく持ち行きて取らせよと、直に小尼を走らせて是れを賊に附す、賊大いに其の無慾に服し、前に奪ふ所の物を擧げてことごとくこれを返へし、深くその罪を謝して去れりとなん。（三浦千畝）

▲女子の海外旅行　文明の思想を社會一般に普及せしめんとするには、女子が洋行して泰西の文物風俗を實際に見て來るの必要があります、語學の力が不充分であるから到底六ヶ敷いなど云ふ人がありますが、苟も眼が明いて居て常識を備へてさへ居たならば、研究するのに少しも差閊えのないことゝ思ひます、故に志ある婦人は進んで海外に旅行されんことを希望します。

婦人の力に就て

宮川鐵次郎

▲日本婦人の位地　現時の日本社會に於ては、婦人が裏面に大なる勢力を有して居るにも係らず、社會上に現はるゝ婦人の位地は誠に低くあります、勿論是れは習慣の然らしむる處でもありませうが、又日本婦人は一般に教育の程度低く、且つ婦人としての立派な活動が多く現はれぬ處から、社會全體が婦人の勢力を認めぬに起因することゝ思ひます。

▲目に見えぬ勢力　凡て婦人の熱情は非常に人心を動かす力を有するものであります、一例としては戰時に於ける愛國婦人會の活動の如き、軍人に對し或は遺族に對して少からぬ効果を發しました、それは普く世人の知る所で、即ち日本婦人の特長を遺憾なく發揮されたのであります、是れと同時に又家庭に於ける婦人の力に至つては、更に偉大なるものがあるのであります、古來聖賢英傑の士は必ず裏面に良妻賢母を有すると同じく、罪惡の裏面、大亂の源には屢々婦人が關係して居るのを見ても分ります、倘ほ是れを現時の社會に照らして見ましても、政治、實業、教育、宗教、軍事等にも婦人の力が直接間接に大なる影響を及ぼして居ることは、實に爭はれぬ事實であります、即ち天使とも鬼神ともなるは婦人でありますから、これを善に導く方法を執るは目下の急務かと思ひます。

▲智育德育の奬勵　婦人が先天的に有する此力を善良に活動さする方法としては、兎に角相當の教育を授くることが第一であると思ひます、女子大學や高等師範の如く日本に於ける最高教育は一般婦人に必要であるか否やは問題として、先づ普通高等女學校の教育は何人にも授けなければなりません、身體の健康も體育の奬勵に依て益々健全なる如く、婦人として立派な品格を保ち、其の行動する範圍内に於て―家庭又社會等―益ある生活をなすには、必ず智育と德育の奬勵に重きを置くことが必要であります。

▲安全を圖る方法　諺に衣食足つて禮節を知ると申すことがありますが、實に此の生活問題が人間の品性の上に少からぬ影響を及ぼして居ることは、各方面に於て屢々見聞する所であります、一例を云ひますと、生活の爲め心ならずも再縁する婦人が澤山あります、貞操の守るべきは充分に知つて居りながら、財產もなく、身に一の藝能もなきに二三の遺子でもあり抔すと、終ひ他人に頼るの止むを得ぬ場合に立ち至るのであります、如何に富貴の家に育つ人と雖も、永い一生涯には種々の境遇に出逢ふものと極めて置かねばなりません、世の中は凡て人も頼まれず、財產もあてにならぬから自ら事を成し得るの力を養つて置くのは最も安全なる方法であります、故に婦人に相當の教育を授けて置くことは、啻に品格を高むる上に必要なるのみならず、一朝事ある時は立派に夫れを所置して身を全ふし得られるといふ上からも必要であります。

歐米の婦人（上）

日本女子大學校學監　麻生正藏

▲腕も頭腦もある　私は歐米漫遊中に種々な事を見聞しましたが、其中で一番感心しましたのは、感心な婦人の多いことであります、勿論歐米の婦人中にも感服の出來ぬものもありますが、概して立派な感ずべき婦人が澤山にあつて、夫れが社會の各方面に有効の活動をして居るのであります、其の活動は表面に現はれて居るのもあれば、蔭に隱れて見へぬのもありますが、兎に角手腕もあり頭腦もあり、心もあり經驗もある婦人が眞面目に熱心に、社會の各方面に活動して居りますのは、實に羨ましき限りであります、斯かる婦人の從事して居る事業は極めて實際で、決して浮々したものでなく、實地有効の結果を生じて居ります。

> ▲夫の婦に對する心得
>
> 一には出入正に婦を敬ふべし二には之れに飯食せしめ時節を以て衣被を與ふべし三には當に金銀珠璣を給ふべし四には家中の所有の多少は悉く用てこれに附すべし五には外に於て邪に傳御を畜ふことを得ず。（六方禮經）

▲伯爵夫人と農業　私は曾て日本に來朝したことのあるステッド氏の紹介で、國家の將來を思ひ、婦人の新職業を開く爲めの農業女子大學校を創立したる、レディー、ウォリック夫人を訪問し、且つ其の學校をも參觀しました、夫人は伯爵の名門である上に、英國の社交界に於て名聲高く、皇帝皇后兩陛下よりも御寵遇を蒙むつて、現に皇帝陛下は農業大學の保護者の一人になつて居られます、學校は其の別莊なるウォリックシャイのスタッドレー城にありまして、庭園は約三百エーカー許りの宏大なもので、學科は園藝科、養鷄科、バタ、チース科等に別れて、是れに附屬したる養蜂科もありますが、何れも腕力を要せぬ輕易なる仕事で、婦人には極て適切な學科であります、而して花壇、藥園、養鷄場、養蜂場、牧畜場、バタ、チース製造場、温室等の設備に至つては、遺憾なく完備して居るのであります、夫人は尚ほ此外に裁縫會やら幼年保護會などを設けて、地方の貧民教育にも少からず力を盡されて居られます。

▲婦人活動の模範　夫人がこの農業女子大學校を創立した主意は、近時英國民間に農業を輕視して田園生活を厭ふて都會に集まる傾向があり、隨つて農產物を他國から輸入することが甚だ多いので、一方には此現象を見て國家の將來を慮り、一方には又輕易なる農業が女子に適すると同時に、女子職業の範圍を擴張するために創立されたのであります、夫人は身貴族でありながら、安逸に流れず、名譽に驕られず、常に貧民の味方となり、勞働を尊び、國家を思ひ、有らゆる方面に活動して、英國の社會では實に有力有効な人であります、是れを見ましては日本の婦人はまだまだ及ばぬ所が澤山にあるのでありますから、是非とも奮起して精神上の發達を圖り、社會の各方面に渉つて、適切有効なる活動をなすやうにならねば國家の發展は望まれません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

銀杏若葉

三島霜川

西の空に輝く夕榮。その光に、緑の野は一面にきらめき、輕く渡る風にも光があるかと思はれて、五月の空は爽に、物皆蘇ッたやうに活々してゐる。

「此樣な天氣廻りの好い植付はねえもんだ。」

と何處やらで、皺枯れた、併し力のある聲がした。

「然うだな。戰爭は濟むだし、人手に不足は無えし、加之天氣廻りが好いだから何うかしてな、好い收穫をしてえもんだ。」

こは、野の聲であらう。野の彼處に此處に人の頭と頭と頭が、滿目の緑を破ッて散點してゐる、水田に鍬を閃かすもの、苗の束を投げるもの、苗を植えるもの、または畔に立つもの、馬を叱るもの、村の人といふ人は、秋の豐な收穫を希望ッて、此の永い日を、日の暮れるのも知らずに働いてゐる。流までが、人の活動の爲に濁されて、さも忙しげに流れてゐた。其の忙しさうな中から、誰が謠ふのか、のんびりした野ら歌が聞える。

やがて野は薄闇くなる。四下が寂然する。而ると村の方から、赤子の乳に餓えて啼く聲一としきり。あはれ、誰が子。母は、活くる務を野に働いて、乳房啣ませる時を忘れたのでもあらう。

村の影は黒く黒くなッた。村に籠められた、家と謂はず、林と謂はず、藪と謂はず、木立と謂はず、たゞ黒い影になッて了ッて、その中に、一ともと銀杏の樹が、巍然として聳え立ッてゐる。若葉の銀杏！、其の影は颯爽として、宛然に、此の野と此の村の平和を護る偉人かとも思はれる。見るから靈活にして、聖なる樹！

今、其の樹の梢頭に、冠を飾る寶玉の其かとばかり、宵の明星が、爛としてきらめくのであッた。そは、夜の眼か。こは、一日野に働いた者に向ッて疲勞を休めよと告げる光！されば、夏もまた秋も、村の者は、此の光を、奈何に尊く、また悅しと仰いだであらう。

此の銀杏の樹の下に、太左衛門といふ家の門がある。太左衛門は、村て一番の老人てあるが、足も達者なら、手も達者。それて今でも若い者に負けずに働いてゐる。太左衛門は今、曲ッた腰に鎌をさし硬ばッた肩に鍬を擔いて、何やら喜悅と滿足とを胸に宿しながら、我が家の門まて歸ッて來た。ふと銀杏の梢を仰ぎながら、にッこりする。そして更に、足下を流れてゐる小川の幽音に耳を傾けるのであッた。流は、夕闇の中に、潺緩ゝ錚鈴のやうな音を立てゝゐる……太左衛門は、かゝる夕、かゝる時、其の秘やかな音に耳を傾けながら、そして銀杏の若葉を透して、彼の靈あるが如き星の光に胸を照らされたとは、幾度といふ數が知れぬ。而も其の音を聞き、其の光を仰ぐ時は、もう一日の務を終ッて、これから淡い穩な慰安の境に入らうといふ時である。それて太左衛門の胸には、何時ても悅が溢れるのであッた。

間もなく老爺は、小川に立ッた。そして足を洗ひ、鍬を洗ッてゐると、

「何んだッてな、太左衛門が許の末の娘田植が濟むだら嫁入するだッてな。」

「え、何家さ。」

「何家ッて、何んだ、吉藏が次男坊の許だッてよ。爺さん。何樣に悅んでゐる事ッたかな。何んでも末の娘片付けねえうちは、役目が濟まねえッて言續けてゐたんだから。」

「然うかえ。俺は、少しも知らなかッたが、何しろ芽出度い聟ッた。爺さんの事ッたから、立派な嫁衣を作えた事ッたらうな。」

「然うだらうとも！對手が凱旋軍人だといふので、爺さん、大威張だといふことだ。」

此樣な事を話しながら行く二人の百姓。太左衛門は、片頰に笑を漂べながら、默ッて此の話を聞いてゐた。そして兩人の影が、若葉の木下闇へ消えた時分に、太左衛門は徐に小川から上ッた。途端に門の内て、馬が頻に嘶く。つゞいて、板屋を蹴立てる音がする。

太左衛門は、顏を顰めて、「何だ秣を遣らねえんだな。」

と呟きながら、門の内へ入ッた。而ると勢の好い次男の太作が、

「や、阿父さん、遲くなッたね。」

と聲を掛ける。彼は、大きな秣桶をひッ提げてゐるのであッた。

「むゝ、黒馬が、彼樣に暴れてゐるぢやないか。疾く秣を遣れよ。」

「今、遣るところだ。」

ところへ、總領の彥太といふが背戸の方から出て來て、

「阿父さんか。草臥れたらうね。」

「何有！……」と打消したまゝ、太左衛門は、づッと家へ入ッた。

臺所には、末の娘のお作が、爐の火を搆ッたり、膳立をしたり、かい〳〵しく夕餐の仕度をしてゐる。其の傍て、總領の嫁が、野歸り姿のまゝで赤子に乳を啣めてゐた。太左衛門は、にこ〳〵しながら嫁の傍へ立寄ッて、孫の顏を覗いて見ながら、

「や、一生懸命に飲むでゐるな。」といふと、赤子は、乳首を放して、くり〳〵した眼で祖父の顏を見詰める。「や、もう可いか、澤山飲むだか、はゝゝ。どれ、來い、來い。來るか、そら……はゝゝ。」と兩手を突出して「どッこいしよ。」と抱いた。そして、眼をへの字にしてあやしながら「作。」と末の娘を呼掛けた。

末の娘は、何氣なく振返ると、

「汝も、嫁づいて、疾く此樣な可愛いのを見せて呉れ、な。汝が、嫁づいたら、俺が役目が濟むといふもんだ、可いか、疾くな。汝が此樣な可愛いのを見せて呉れたら、俺は、それて、スッカリ幸者になッて了うのだ。俺は、先祖から貰ッた金や地面で、汝等を育てたのでは無い俺が腕一ッて育てたのだから、汝等の身が定ッて了ふと俺が重荷を卸して了ッたやうなもんだ。何んでも人といふものは、正直に、一生懸命に働いてさへゐたら何時か幸な身分になれるといふもんだ。やれやれ俺も、もう少時て、人間の役目が濟むで氣樂に人になれるわい。」

＊　＊　＊

此くて程なく、一家殘らず、つらり頭を並べて、質素な、併しながら賑な夕の團欒となッた。外は、蛙の聲に夜は良闌けて、若葉銀杏の梢頭なる星は、時の移ると共に次第に光を增すのであッた。

日章旗の元祖

つゆ子

皆さん、我が日本の國旗、旭に輝く日の丸の旗と謂へば、今では、此の廣い世界でも、誰知らぬ者も無い名譽の旗印でございます。日本國民の仁義と武勇とをあらはす日の丸の旗、見るから光り輝く日の丸の旗、そも〳〵、誰が、此の旗印を思付いたのでございませう。恐らく御存知の方は少なからうと思ひます。日の丸の旗は、何時も見てゐても、その起因を知らないのは恥辱です。

それは嘉永七年、今から五十年ばかり前に、時の薩摩日向大隅の國主島津侯が、德川幕府の殿中で、閣老の阿部豐後守といふ人と、いろ〳〵と話をされた揚句に

「何んと、日本の國旗をお定めになりましたか。彼の大船の出來た上は、琉球の方へ差向けやうと思ひますが、それに付けても、日本の總印を用ゐたいものと思ひます。」

と謂はれた。豐後守も、

「御尤の仰でございます。もし、お見込があッたら有仰ッて下さい。」

と謂ッた。そこで島津侯は考へてゐて、

「我が國は、日の本といふから、その意味を取ッて日の丸が好かと思はれます。」

「これは、好い思付でございます。直に其に取定めませう。」

と豐後守も、大層賛成して、それと定ッて了ッた。そして翌る年、薩摩の船の昇平丸が品川灣に廻航した時に、船の舳に、ひら〳〵と日の丸の旗が飜ッて居ました。これが日章旗の元祖でございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人の職業と能力

印刷局長　得能通昌

▲婦人と社會　當今の日本婦人が社會から受けて居る壓制は、單に政治上の自由を與へられないとか刑法上の均等を得ないとか云ふことよりも、第一は職業上の問題であると思ふ、日本の男子は婦人と云へば男子同樣の職業は爲し得ぬものと頭から極めて、婦人に働くべき職業を與へなかつたのでありますが、實際に職業を與へて見ると、如何なる事でも相應に出來ます、印刷局では最も古くより最も多く婦人を使用して居りますが、昔通官廳に於て屬官のする仕事、例へば簿記とか、照會往復文を書くとか、算盤を彈くとか云ふことは充分に出來ることを認めて現に從事させて居ります。

▲職業と體質　婦人が職業を執るに當つては、男子が總て組織して其の職業を與へ、婦人をして計畫組織に參與せしめぬ所から、種々なる間違ひが生じて來ます、婦人の事は婦人でなくては分らう筈がありません、然るに男子は自己の身體知識を程度として事を圖るから、甚だ不合理なことが生じて來るのであります、現に印刷局でも婦人の役員に總て椅子を與へないで、立ちながら働かすことに始め計畫され、其儘引き續いて今日も實行して居りますが、婦人は生理上の關係で、長時間立つて働くは困難であると云ふことを發見しましたが、今更ら是れを變更することも出來ず、其の方法に就て甚だ困つて居る次第であります。

▲敎育と職業　婦人の職業者を監督するは敎育ある婦人でなくてはいかぬ、故に印刷局で役員を採用する場合には、成るべく女子高等師範の卒業生などを採用するやうにして居ります、亦た敎育のない者には僅少の時間なりとも割いて敎育を與へ、善良なる職業的婦人を作ることに勤めて居るのであります。

▲監督の能力　印刷局に於ても或る程度までの監督は婦人にさせて置きますが、最上の監督は男子にさせてあります、婦人では何うも出來兼ぬる、何故出來ぬかと研究して見ると、男子は人の上に立ち人を使ふことに興味を有つて居るが、婦人は服從的で、人に從つて事を爲すと云ふ傾きがあつて、人を使ふことに興味を有つて居りませぬ、要するに是れは男女性格の異る點から來るのでありませうが、また一面から考へて見ますると、是も敎育が不充分な爲め、自然と人の上に立つことが出來ず、社會から壓迫された習慣性であるかも知れません。

衞生學的　窈窕たる淑女

糸左近

無學な我には、「窈窕たる淑女」など申す六かしい字義の如何は、固より知りませぬけれど、兎に角之を我流勝手に解釋すれば、「身も心も美しく、それて、何と無う奧床しい所のある善い女」といふ義ではありますまいか、果して然りとせば、眞に衞生を實行する人の、必ず其域に達せらるゝは、言ふまでも無いと余は思ふ、然れば左に其次第を列記して見ませう。

適度の運動――頰は瘦せこけて、四肢は火箸の如くに細く、肋骨は一本々々透いて見ゆるやうな身體、又はデブ肥りに肥つて、鼻は謙遜、肩は傲慢、腿は腿摺するといふ如き姿は、兩者何れも醜いものでは有るが、併し斯うなつた理由を、一々穿鑿して見ると、適度な運動を怠つた事が、大なる原因を作つてゐるのである。

滋養食物――適度な運動をしてゐても、滋養食物の供給が不足、又は過多なれば色艶の惡いコセ〳〵したる皮膚にならずんば、脂肪沈着して、これ亦デブ肥りになるものである。

光線と空氣――滋養食物を取り、適度に運動してゐても、太陽の光線と、新鮮の空氣とに觸れぬ人は、精神沈鬱になるのみならず、身體の發育も亦妨げられ、窈窕たる姿とはならぬものである。

沐浴――沐浴を怠る人は、種々の皮膚病を發し、玲瓏たる肌とならぬは言ふまでも無く、樣々な病氣も起るものである。

早寢早起――「蚤に起き夜に寢ねよ」と、昔より東洋の學者は敎ふるけれど、これは野蠻の習慣で、爽快なる精神は太陽に依て興奮せらるゝものなれば、夜は何事もせずに、成可早く寢ね、太陽の地平線上に上るを度とし、衾を蹴て起れば、身心共に活々として、窈窕たる淑女になるの第一着である。

偖斯う述べ立ると、唯身體上の發達を論じたばかりの如くに有るけれど、決して然うでは無い、彼の僻根性・嫉妬・虛榮心・沈鬱・不性などの惡德は大抵ヒステリー的の女に有つて、其のヒステリー的は元來腦や子宮の故障、月經の不順等から起るものなれば、眞に衞生をさへ實行せば、身も心も自ら美しくなること疑ふ可からざる眞理である。

更に繰返せば、眞に衞生を實行すると、筋骨瘦せもせず、デブ太りもせず、顏や肌の色も艶々として滑かに、髮は黑々として濃く、脊は曲らず、齒は白く、眼は涼しく口元締り、精神は愉快になつて物に倦まず、記憶は强くなつて知識進み、淸潔秩序の二德は自ら備り、怒らず卑屈ならず何時もニコ〳〵と其の良人に對すれば、之をこれ窈窕なる淑女と言はずして何ぞや。彼の朝寢・夜深・間食・不運動・唯一室にのみ閉籠勝の娼妓藝者は其始美なるが如くにあつた者も、次第に姿形も卑しくなつて、遂に見る影も無き捨扇となるは人知るや知らずや。されば容貌美ならんと欲せば衞生を實踐し給へ、精神美ならんと欲せば衞生を躬行し玉へ、嗚呼窈窕たる淑女は君子の好逑（了）

犬と家庭（下）

家畜病院長　入江淸吉

▲子供の守　セントバーナード及びニューフレンドと云ふ二種の犬は、目方が十二貫目もある大きなものであるが、二つともに子供の守を託すと、能く忠實に子供を保護して少しも危險を與へない、人間の子守は何うかすると自己の遊びに實が入つて、子供を危險の境に陷れることがあるが、この二種の犬は人間よりも正直に其の任務を盡すのである。

▲人命救助　このニューフレンドに就いて面白い話がある、或時一紳士がニューフレンドを連れて海岸を歩いて居た、所が遙の沖合に難破船があつて、乘組員は今にも溺死を遂げやうと云ふ危急の場合であるから、何うかして是れを助けたいと思つたが、四方に救助に用ゆべき適當の船もないので思案に暮れて居ると、ニューフレンドは主人の心配らしき顏色を見て何んと思つたか、淘然とばかり海中に飛入つて、沖合さして泳いで行つた、波にもまれて今にも底の藻屑とならんとして居た遭難者は、思いもかけぬこの犬の泳いで來たのに力を得て、有合せた一條の綱を投げ與へると、犬はその綱の端を咬へて元の岸邊へと急いで泳ぎ着き、茫然として佇める主人に其の綱を渡した、茲に於て今迄如何に成り行くことかと案じて居た主人は、ニューフレンドの奇智敏捷を賞讃する暇もなく其の綱を引張ると、遭難者は夫れを傳つて五人まで助かつた、斯る人命救助の例は他の犬にもないではないが、このニューフレンドが一番夫れには長じて居る。

▲保護の役　前二種に次いで能く人間を保護するはブルと云つて、盲啞學校に居る犬である、數名の盲生や啞生が散歩に出掛ける時には、このブルの頸に數條の紐を付けて、夫れを各自が一本づゝ持つ、するとブルは成る可く危險の少い場所へ連れて行つて遊ばす、而して若し兒童などが寄つて來て盲生啞生に對して惡戲でもしやうものなら、眼を怒らし牙を鳴らして、今にも飛びかゝつて咬み附かんとするの勢を示し、一指たりとも觸れさせないて、能く道案内者と保護者との二役を兼ね勤むるものである。

▲怜悧い質　墺太利を旅行する者は、誰でも頸に金のメタルを附けた犬を數次見るであらう、是れはシープドッグと稱して羊の牧場の番をする、ユーリーと云ふ種類である、この犬は甚だ怜悧な質であつて、嘗て或る牧場の主人の友人が、何の位ゐ怜悧であるかを試して見るとて、二階の窓から牧場を瞰下して、羊が今一匹も殘らず逃げ出したと大聲に呼ばゝつた、すると犬は吾が役目の落度、容易ならぬ一大事が起つたと云ふ態で牧場の周圍を馳け廻はつて見た、所が一匹も逃げ出して居らぬので、何んだ馬鹿〳〵しい人騷がせ、てはない犬騷がせをしたものだと云ふやうな面相で、自分の見張所へ歸つて來た、其處で又その翌日同じ二階から羊が逃げたと叫むで見たが、犬はモウ其の手は喰はぬ、惡戲をして居るのであると云ふことをチャンと知つて、平然として動かなかつたと云ふことである、是れは唯だ其の一例に過ぎぬが、是れを見ても如何に怜悧であるかが知れる。

▲荷物運搬　日本でも人力車の先曳や荷車の先曳きに犬を使つて居るが、先曳きをなさしむべく壯健に養つて置かぬので、大なる効力がないと同時に如何にも弱く苦しさうで、殘酷に見へるが、西洋では前に云つた如く學校まで拵らへて養成する丈けあつて、なか〳〵强いのが居て日本のそれとは較べものにならぬ、大きな犬に小いのを五頭ぐらゐ懸けて曳かすので効力が多い、斯くて犬は人間の勞働までも助けて居るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎第五回總會彙報

本會第五回總會は來る二十日新宿植物御苑内に於て擧行せらる、當日の式場順序其他の豫定は左の如し

▲式場の順序　當日擧式の順序は左の如く行はるゝ筈なり

第一鈴（午後〇時三十分）
第一　參列者入場
第二鈴（午後一時）
第二　君ケ代吹奏
總裁殿下御臨場（此時一同敬禮）
第三　會長開會の辭
第四　總裁殿下御諭旨
第五　會長答辭
第六　有功章御親授
第七　會務竝會計報告
第八　定款議事
第九　君が代吹奏
總裁殿下御退場
第十　參列者退場

▲總會々場　會場は新宿植物御苑を拜借することとなり殊に天皇陛下行幸の上凱旋將校に宴を賜はりたる設備の一切を借受くる事となれり今其の大略を示さんに

△御苑の入口　黒塗の冠木門を新築されたり之を御幸門と名けらる

△休憩所　屋根はマルソイドの紙瓦を以て葺き四方回し延長百間此坪數六百坪なり外に矢張りマルソイド葺の間口三十六間奥行三間の二棟を左右に假設す其坪數二百十六坪にして右の三棟共柱軒等は悉く杉の綠葉を以て包み天井は白布を張詰め二間四方に杉の葉を格張とし柱には櫻星等を點綴す一万六千圓に調ふたるものなり又此大休憩所の中央には花壇を作り雛菊其他の花草咲き揃ひ躑躅は池に映つて紅ゐの虹の如しと云ふ

△奏樂堂　池を渡つて中の島に出づれば此處には八角形建坪十四坪の奏樂堂あり

△大式場　本會の會場に當てんとする處は即ち此大式場にして間口六十六間、奥行廿七間坪數千七百八十二坪の大建物にして左右には八角形建坪十四坪の奏樂堂あり場の中央に一段高き處を設け高さ二尺七寸の階段附にて横九尺、長さ十八尺の板張なり天井は紅白の布を以て張詰め四方に装飾を施し左右に會員の席を設く天井は紅白の布張にて二間四方の青葉格張の装飾を施せり屋根はマルソイド葺にて棟上を杉葉にて包み其上に劒先の附ける白塗の旗竿に日章旗を三方に六十六本を建て軒先は杉の葉の櫻絡に月桂環を配し環中に金鵄勳章、菊花、桐花、瑞寶章等各種の勳章をハート形とし飾り旗は紅白の突裂旗六十本を紅白布卷の旗竿に飄へし旗竿の先は棟の作りと同じく月桂環に象る装飾と下部の紅白の布を以て月桂樹の葉を飾る旗竿受の柱は三方に黄布を以て木材を包み圓柱と周圍六尺に中央に日章旗八本にて旗飾をなし其下に星章を現はす場内の柱は悉く杉の葉の圓柱にて六十ヶ所に二間四方の窓を設く總建坪四千餘坪なり此等の建物は總計約七萬圓にて出來上げたるものなり

> **會告**
>
> 來る五月廿日（日曜日）午後零時三十分より内藤新宿植物御苑内に於て本會第五回總會相開候間御出席相成度候也
>
> 愛國婦人會
>
> 愛國婦人會會員御中
>
> 注意
> 一　當日は會員章佩用の事
> 二　各支部よりの案内狀持參の事
> 三　參列者は靴又は草履用意の事
> 四　小見同伴は堅く謝絶の事
> 五　參列者は雨天の時設備狹隘につき雨覆持參の事

▲餘興　例年の通り餘興には陸軍々樂隊の演奏及び太々神樂等あり

▲紀念品贈與　當日來會せる會員には紀念として會長染筆和歌入の扇子壹對づゝを贈與する筈なり

▲拜觀場所　例年の如く内藤新宿御苑は素より小石川後樂園遊龍館酒井伯爵邸大隈伯爵邸毛利公爵邸鍋島侯爵邸大學植物園等請願中なり

▲式後の宴會　佩有功章者及び地方の職員へ式後晩食の饗應を爲す筈なり

▲汽車汽船の割引　總會出席者の爲め各鐵道汽船の賃金割引は左の如し

汽車之部

會社線名	通用期間	割引步合
日本鐵道	總會當日前五日後七日間	貳割
上武鐵道	仝上	參割
水戶鐵道	仝上	貳割
龍ヶ崎鐵道	仝上	貳割
岩越鐵道	仝上	貳割
上野鐵道	仝上	貳割
房總鐵道	仝前後各四日間	貳割
總武鐵道	仝前後各五日間	壹割
東武鐵道	仝上	貳割
甲武鐵道	仝前後各七日間	貳割
川越鐵道	仝上	貳割
關西鐵道	仝上	貳割
京都鐵道	仝上	貳割
豐川鐵道	仝上	貳割
尾西鐵道	仝上	貳割
參宮鐵道	仝上	貳割
山陽鐵道	仝上	貳割
中國鐵道	仝上	貳割
南海鐵道	仝前七日後六日間	參割
北海道鐵道	仝前七日後十日間	貳割
炭礦鐵道	仝前後各七日間	貳割
北越鐵道	仝上	貳割
九州鐵道	仝前後各十日間	貳割
伊豫鐵道	仝前後各七日間	貳割
徳島鐵道	仝上	五割
阪鶴鐵道	仝上	貳割
七尾鐵道	仝上	貳割
成田鐵道	仝上	貳割

汽船之部

會社線名	通用期間	割引步合
日本郵船	仝前後各十日間	貳割
大阪商船	仝上	參割
大阪同盟汽船	仝上	參割
越佐汽船	仝上	貳割
安進社	仝上	貳割
鹿兒島郵船	仝上	貳割
土佐商船	仝（三等ニ限）	貳割
銚子汽船	仝前後各七日間	貳割
南豫運輸	仝上	貳割
東豫汽船	仝上	貳割
河波汽船	仝上	參割
內國通運	仝前後各五日間	貳割
利根川汽船	仝前四日後五日間	貳割
江戶川汽船	仝上	貳割
東京灣汽船	仝前後十日間	貳割
陸奥汽船	仝上	五割

摘要
（日本鐵道）官線連絡は通用期間各七日間、
（日本郵船、大阪商船）兩社航路は割引步合貳割、仝上各十四日間
（山陽鐵道）[illegible]發賣切符は仝上各十四日間、
（關西參宮鐵道及其他）官線連絡なき驛は割引券各一枚を要す
（九州鐵道）は社線内に限る、連絡切符發賣せず

注意
（一）會員にして總會に出席せん爲め汽車汽船の割引證を得んとする時は地方支部又は幹事部に申出の事
（二）割引證を受けたるものは其證書に必要事項を記載し差出し割引を乞ふものとす
（三）途中高等車、高等室に乘換又は乘車乘船券面記載の停車場又は各港へ乘越區間及乘換の不足賃に對しては割引せざるものとす
（四）往復切符乘券は歸路乘車せざる場合と雖とも賃金の拂戻をなさず
（五）十二歲未滿の小兒に對しては割引を爲さず
（六）割引往復乘車券を以て途中下車驛以外の驛に下車し並に券面外各港へ上陸したるときは往又は復の一片に對しては前途無効とす

◉本會顧問招待會　地方長官會議の爲め出京中なる本會顧問各府縣知事を今五日偕行社に招待せり詳報は次號に讓る

◉大觀兵式陪觀　去月三十日擧行せられたる大觀兵式には我が會議員にも列席の場所を與へられ第三號天幕中にて陪觀の榮を得たり

◉遺族へ寄贈の菓子包裝　此度び靖國神社臨時大祭については本會が其參列遺族の慰安に全力を盡せし事は別に詳報せる如くなるがこれも遺族の爲めとて祭典委員より贈與する菓子袋八万七千餘を四日間にて我が會員の盡力にて包裝を爲し終へたり元來此御菓子は陸軍省より戰地の軍人に寄贈する爲め購入せしものにてこれを一應靖國神社に供へ供物として之を遺族に贈與する主旨にて本會の手に依て包裝せられん事を大祭委員より依賴されたるにより之を引受けたる次第なるが我が會の活動力は實に此袋を包む上にも顯はれ會長よりの一命の許に集るもの四百五十四名に達し瞬隙に能く九万に近き數量の事業を終へたり岩倉會長始め近衞、毛利、大山、鍋島、山内、谷の各理事始め評議員幹事方一同等に全力を盡されたり同四日間の成蹟表を左に掲ぐ

第一日（四月廿三日午后四時四十二分始）出席人員百名
包裝數貳万千五百九十五袋
第二日（四月廿四日午前八時四十五分始午后四時五十二分終）出席人員百八名
包裝數貳万五千五百六十袋
第三日（四月廿五日午前八時五十分始午后三時二十分終）出席人員百三十名
包裝數貳万千百八十袋
第四日（四月廿六日午前八時四十七分始午后一時四十八分終）出席人員百十六名
包裝數一万六千五百七十二袋
合計包裝數八万七千九百七袋
出席人員四百五十四名　一名平均百九十三袋

◉奥村刀自　大會に臨席の爲め本月一日歸京したり

◉遊說員派遣　栃木縣足尾町に遊說の爲め野中やす子を去る二十日派遣し七日間遊說の上去る廿六日歸京したり

◉寄附金披露　其後金拾圓以上の寄附者左の如し

一金壹千圓　東京出征軍人家族慰問婦人會　華族女學校卒業生并ニ同校出身すみれ會
一金百圓　芝區　石原たかね
一金五十圓　小石川區　中村鉄子
一金參拾圓　愛媛縣　仲田キヨ
一金五拾圓　靜岡縣　長田ベル
一金拾圓　靜岡縣　田久平
一金拾圓　外二支部へ寄附　近藤正弘

一金拾圓　右の内軍人遺族慰問婦人會の分は左の書面をおくられたり

一金千圓　右金員は軍人家族を慰藉の爲め有志婦人間に於て醵集せし支拂殘金之内に有之候間今回御會へ寄附致候御受納被下候はゞ本會の目的にも適ひ候儀と相信候其爲得貴意度如斯に御座候敬具

明治三十九年四月　出征軍人家族慰問婦人會々長　毛利安子

愛國婦人會々長　岩倉久子殿

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎各地支部状況

▲東京支部　五月二十日本會の總會と共に第一回總會を新宿植物御苑に於て開會する都合なり

▲京都支部　總會を五月廿五日頃に開く事に決定し本會總裁閑院宮妃殿下の御臨場を請願中なり尚去月廿九日同支部管内船井郡幹事部に於て第一回總會を開催し折柄京都市滯在中なりし奥村刀自臨席せられ頗る況盛を極めたり

▲新潟支部　新發田町幹事部總會は去月十六日水原町高等小學校内に於て開會せらる出席者は會員百一名にして會務其他の報告ありたる後ち五十嵐顧問御令旨を捧讀し山崎中佐より愛國婦人會の三十七八年戰役に於ける實歷に就て數時間に亘る講話あり餘興には蓄音器等あり閉會後佐藤伊左衞門、同友右衞門兩家の催しにより慰勞宴會を催れて觀櫻會を同町水上櫻に開きしが是亦非常の盛會なりし

▲石川支部　去月十八十九の兩日第九師團臨時大祭擧行せられたるを以て支部に於ては參拜遺族を慰藉する目的を以て金澤公園内に茶菓接待所を設けたり今其設計及び接待の模樣を記さんに公園内に三間に三拾間の屋舍を組築し緑門を作り場の中央には花瓶を据へ優美なる裝飾を爲したり接待の順序は支部職員及郡市幹事は公園内前田侯爵邸に集合し各々部署を定め午前九時頃より陸續入場し來る遺族を招待し茶菓を與へ懇切なる待遇を與へたれば一同深く喜びて歸りたり當日接待員として盡力せられたるは百餘名にして近來になき活動なりき

▲山形支部　同支部酒田町に於ては同町出身軍人戰死病沒者の忠魂祭を四月廿日午前は神式午后は佛式を以て招魂碑所在地なる島太神社境内に於て執行されたり當日は天氣晴朗一點の雲なく遺族の參會者百數十名何れも靜肅に各參拜の式終りて後奉公義會及び愛國婦人會よりは特に遺族一同に叮重なる靈飯と菓子とを饗し且つ一同を觀海樓上に請じて之を慰藉し音樂の演奏踊引等其他多樣なる餘興に遺族の滿足實に云はん方なく何れも十二分の歡を盡くせるは偏に奉公義會並に愛國婦人會員諸子が熱誠の致す所と感謝せらる其翌廿壹日は凱旋軍人數百人の爲めに祝賀會を長坂□の松林に於て行はる此日父前日に優る好天氣にして數里の遠き村落より此盛況を見んとて集ひ來る者數萬人實に當地開闢以來の盛會なりき此日我愛國婦人會は會場の好位置に廣く天幕を廻らしておでん、てんぷら、茶、菓子等の模擬店を配置最も宜しく各所に設け殊に何れも身分ある同會員幹事諸子を始め各會員何れも揃ひの襷に前掛と云ふ扮裝にて當日數百の軍人諸士が各町幾百千の行列と共に隊伍整然數時間の永き市中を行進して會場に入りし事とて何れも空腹を感じ居れば入場早々何れも是等の模擬店に馳け込み或は飲み或は食ふもかれて斯くあらんとを豫期して設備せるとて需用を缺くが如きとも更になかりしは我等婦人會員の大に誇る所にして且つ襷に前掛の輕裝に歡待至らざるなきは大に來人の敬意を受けしと確信す

▲千葉支部　日露戰爭中千葉町愛國婦人會有志者發起となり廢物を利用して出征軍人遺家族に對し金品を贈り或は自ら各戸に就き訪問慰藉に努めたりしが今や出征軍人悉く凱旋し何れも歸郷して業務に就きたれば最早之れを繼續するの必要なきを以て三月限り廢止したれど右軍人出征中金品を贈與したる額は實に五六百圓以上に及べりと云ふ就ては右の事を贊同し廢物代金を寄附せられたる人々に對し去る二十九日午後一時より女子師範學校に茶話會を催し慰勞の意を表せり

▲函館支部　四月十七日區役所に合して幹事會を開けり其要領は一招魂祭當日軍人遺族接待の件、一軍人遺族廢兵慰問分擔の件、一同上廢兵慰問品選定の件、一軍人遺族の困難者へ暑中見舞品贈與の件等に付協議する處ありしが其決議の要項は招魂祭に對しては例年の通り當日は適當の位置を選び休憩場を供して遺族待遇の實意を表すること慰問は分擔を以て幹事評議員に於て夫々回訪すること其他は相當の時機を見て實行する見込なりと

▲山形支部　甲府停車場構内に設けたる山梨支部凱旋軍人歡迎場は四月十九日限り閉鎖されたるに付き支部長武田はま子を初め幹事長桑原みさ子、川口きん子の諸氏は是迄該場に更代出張して斡旋の勞を取られたる幹事並に會員諸氏の爲めに仝二十日縣會議事堂内に於て慰勞茶話會を開き武田支部長より一同に對し鄭重なる挨拶を述べられし由因みに北都留郡上野原町に設けたる仝會場も閉鎖せし由

來ル五月二十日内藤新宿植物御苑内ニ於テ當支部第壹回總會相開キ候ニ付御出席被下度候也

愛國婦人會東京支部

愛國婦人會
東京支部會員御中

御支部活動状況「愛國婦人」紙上へ掲載仕るべく候につき當發行所宛時々御報告被下度候

愛國婦人發行所

各地支部御中

來ル五月二十五日京都御苑内ニ於テ當支部第五回總會相開キ候間御出席被下度候也

愛國婦人會京都支部

愛國婦人會
京都支部會員御中

▲廣島支部　同支部會員は出征軍隊凱旋以來殆んど半ヶ年の久しき毎日軍用停車場内に於て軍人に對し茶及び菓子湯を供給し來りしが今回閉鎖するについては同市の軍人待遇會より慰勞會を開きたり

▲福島支部　仙臺市に於て第二師團招魂祭執行せられたる時支部より支部長代理副長小郷まき子外評議員一名主事一名參列し神前には大鏡餅貳臺を供へたり

雜報

◎陸軍大觀兵式　去月三十日青山練兵場に於て大觀兵式を擧行せらる當日　大元帥陛下には第一公式の鹵簿にて式場に行幸あらせられ御閲兵の後玉音朗かに左の勅語を宣らせ給へり

勅語

朕玆ニ凱旋軍ヲ集合シテ親シク觀兵式ヲ擧ゲ軍紀大ニ振ヒ隊伍克ク整フヲ認メ朕深ク之ヲ悦ブ汝等益々奮勵シ以テ帝國陸軍ノ發達進歩ヲ期セヨ

大山元帥進み出で、勅語を拜受して兒玉大將に授け更らに左の如く奉答申上げたり

陛下玆ニ凱旋軍ヲ親閲アラセラレ特ニ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ堪ヘズ益々奮勵努力以テ聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス臣謹デ凱旋軍ヲ代表シ謹デ奉答ス

明治三十九年四月三十日
明治三十七八年戰役陸軍凱旋觀兵式
諸兵指揮官
元帥陸軍大將侯爵　大山　巖

斯くて曠古の大觀兵式を終へさせ給ふ雄大偉麗斯の如きは肇國以來稀に見る所なり

◎山階宮御命名式　山階宮御本邸にては去月二十七日午前九時より菊麿王、同妃兩殿下及香川家令、佐野御附武官參列の上廿一日御分娩の王男子御命名式を行はせられ左の如く御命名あらせられたり

一、御　名　萩　麿

右御命名あらせらるゝや香川家令は宮城及東宮御所に參上して委細言上し山縣圖書頭は直に系統譜に御登錄の手續を了したり

◎全國癈兵の員數　内務省が各地方に照會して得たる癈兵數は未だ其精確なる數を得ざるも概數三万一千八十八人にして此中には傷病者を含むを以て實際癈兵院に收容を要する者は甚少數なる見込なりと今各縣内譯を示せば左の如し

岐阜	一、九九五	新潟	一、八二五
富山	一、三一一	佐賀	一、一五二
三重	一、一三一	愛媛	一、〇三二
愛知	一、〇一九	福岡	九四五
徳島	九三一	廣島	九二八
香川	九〇四	栃木	七九〇
東京	七七一	茨木	七六一
兵庫	七四七	福島	七三六
長野	七二〇	大阪	六七一
岡山	六三九	千葉	六四三
高知	六二三	鹿兒島	六一〇
石川	六〇六	熊本	五八六
滋賀	五五〇	山梨	五四二
秋田	五二三	福井	五二二
靜岡	四八五	群馬	五一〇
青森	四八一	島根	四六九
長崎	四六四	山口	四四五
京都	四三四	埼玉	四二八
宮城	四一六	北海道	四〇七
宮崎	三八一	岩手	二九九
山形	三一二	奈良	二六三
鳥取	二七五	大分	二三八
神奈川	二四二	沖繩	一六〇
和歌山	一七五		

◎癈兵入院者少なし　第二十二議會に於て可決せる癈兵院は東京大阪小倉の三箇所に設立の筈なるが癈兵數は全國に於て概數三萬一千餘人にて是等の中には勿論輕傷者にして救護を要せざる者も多く癈兵收容の必要を認むる者は其何分の一にも充たざるべし然るに我國の家庭狀態は歐米と趣を異にし總て其生活狀態は家族の繫累を欣び假令其手當の充分ならざるも尚親族の保護を受くるを喜ぶ有樣なるを以て癈兵院收容希望者は極めて少く今回上京せる地方長官中には其の管下に於て皆無なるべしと言へる向もありとなり

◎高等女子實修學校　豫てより校舍新築中なりし同校は五月一日より授業を開始したる由、同校寄宿舍制度は各女學校のそれより最も特色を有するものにて六疊、八疊、三疊二間之に勝手が附きたるものを九戸に分ち一戸に六人を收容し家賃として五圓、舍費として一圓を徵集する規定にて一家族は各級のものより成るものにして一年生より四年生までは普通の家族の資格なれど五年生の者は主婦と下婢とを交代に勤むることゝなし家事一切の實修を此寄宿舍中に習はしむる組織なりといふ

◎女子英語科生徒募集　本年新に女子高等師範學校内に設けられたる第六臨時教員養成所にては英語科生徒三十名を募集す入學資格は修業年限四ヶ年の官公立高等女學校卒業及之と同等の學力を有するものにして本年四月一日の調にて年齢十七年以上二十五年未滿のものにして夫を有せざるものに限り來る五月二十日迄に到達の日取を以て願書を提出すべし、卒業期は三ヶ年にして食費官給、就職義務は官給を受けたる期間に同じ、目下女子英語教員は非常に拂底なるを以て卒業の上は三十圓以上に就職すべしと

◎女子大學の開校式と紀念式　同校教育部及び豐明小學校豐明幼稚園の開校式と同校第六回紀念式は去月廿七日開會せり

◎女子清韓語學講習所　小石川表町なる同校は今回更に支那人の教師を增聘し夫人令孃及び教育家諸姉の爲め正撰科共數名入學を許すと

◎女子英學塾　津田梅子氏の監せらるゝ女子英學塾にては他の學校へ通學しつゝあるものにて英語に志す者の便宜を計り午後二時半より二時間宛初等、中等、高等の三組に分ち隨意に授業する由

◎麴町女學校　同校にては去月廿日頃開校式擧行の筈なりしが工事全く竣工を告げざる爲め本月執行することに延期せりと云ふ

◎體操生募集　九段坂下牛ヶ淵なる體操學校女子部にては高等本科生並に撰科生を募集しつゝあり

◎第二府立高等女學校　同校にては本月上旬を期し春期遠足を企て一年級は淀橋附近へ二年級は王子へ三年歩は稻毛へ四年級は鎌倉地方へ五年級は横須賀等の各方面へ遠足する由

◎櫻美婦人會　市立臨海小學校長木村兵太郎氏發起となりて深川區西大工町十八番地に櫻美婦人會なるものを起し造花、レース、編物、ミシン、仕立方其他種々手藝法を教授する由

◎造花の奉納　神田區一ツ橋なる共立女子職業學校にては婦嬌神社の大祭に就て方三尺高さ六尺の電氣仕掛の造花を獻納したり其花は櫻、牡丹、菊、チユーリツプ、薔薇、山吹、天竺牡丹、躑躅、蝦夷菊、カーネシヨン、アイリス、ベルギヤ、鐵砲百合、木犀等

◎富豪の篤志　岐阜縣惠那郡中津町に於て町立高等女學校を設立し去月二十一日より開校せしが同校は同地方の家庭に適する婦人を養成するに勉め課外に實業園藝等を課し勤儉勞働の美風を涵養すと尚ほ同校は同町の富豪間杢右衞門の特志に依りて建設せられたるものにて同人は日露戰役紀念として今回敷地二千五百坪（內千[illegible]百坪は[illegible]場の際寄附）時價約萬五千圓と建築費凡費萬二千圓其他計三萬圓を寄附し又經常費として永久毎年三千圓づゝ寄附することを申出でたるものなりと云ふ

◎婦人の職業　婦人の職業として其新途に就き詳細に取調べたものを見ると先づ從來のものでは和服仕立▲巻煙草▲眞綿引延▲足袋縫ひ▲下駄の鼻緒▲編物の總▲マツチの箱貼▲元結撚▲麻裏草履の裏附▲洗濯▲糸かへし▲ハンケチ縫▲齒磨楊子▲花簪▲下駄の表編▲機織▲羽織の紐組▲袋張り▲電話交換手▲髪結ひ▲子守▲紡績工女▲印刷局工女▲毛絲編物▲メリヤス靴下▲メリヤス鼓縫▲造花▲草取▲活版職工▲產婆▲看護婦▲教師以上三十三種で、中には獨立的なるものあり副業的なのもある而して最後の三職業は教育あるものならでは得あたはぬ、扨て又近ごろ新職業として傳へらるゝは

一、家庭教師　自六圓至十九圓
二、傳導師　自十六圓至卅圓
三、繪端書の着色　日當自八錢至廿五錢
四、保姆　自三圓至十二圓
五、體操教師　自十五圓至卅圓
六、遞信局作業員　自卅錢至五十錢
七、電話交換局事務員　一日自十七錢至卅五錢
八、東京市役所傭員　一日自十五錢至卅錢
九、日本銀行傭員　一日同上
十、勸業銀行傭員　日給自十七錢至卅五錢
十一、共濟保險會社傭員　同自廿錢至廿五錢
十二、　同自廿五錢至五十錢

の中一と四とは雇主方に泊り込みである此等は働き次第、六より十二までは勤務時間の多少によりて相違あり、十より十二までは日給の外に賞與と云ふものがある、六は多く出札係なれど婦人自身は從客に顏を晒らす網の中の動物園的なりとて太く嫌ひ居るそうだ、此外近年漸く新たなる婦人職業として傳へらるゝは

一、寫眞師　自十五圓至卅圓
二、速記者　自廿五圓至卅圓
三、料理番　自十圓至十五圓
四、畫家　不定
五、新聞雜誌記者　自十二圓至廿五圓

である現今婦人の職業としては大略以上の如くて

▲家庭こよみ（五月）

▲行事▼　二日、今日より六日まで靖國神社臨時大祭△三日、八十八夜農家俄に忙し△五日、端午の節句△六日、今日より夏となる△九日、愛國婦人會理事會△二十三日、愛國婦人會評議員會

▲日取▼　先勝(三、九、十五、二十一、二十六) 友引(四、十、十六、二十二、二十七)先負(五、十一、十七、二十八)佛滅(六、十二、十八、二十三、二十九)大安(一、七、十三、十九、二十四、三十)赤口(二、八、十四、二十、二十五、三十一)

▲遊樂▼　藤△牡丹△つゝじ△芍藥△野外の散策に好適の時△八十八夜より釣魚の好期

▲料理▼　黒鯛△あなご△鯒△鱚△いな△鮎△あはび△鯛△姫百合△蓮いも△青唐がらし△摘菜△芹△そら豆△白瓜△ぜんまいなど最も佳し

▲日曜▼　六日△十三日△二十日△二十七日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

隣の家

生田葵山

『私に入會れと仰有るのですが……しかし私見たいな文盲な者が入會したつて何のお役に立つものではなし、却て名譽ある皆さんのお顏を汚がす樣なものですからね。』

唐物屋の内儀さんの波奈子は、お隣家のお醫師の夫人さんの浪子さんが愛國婦人會へ加入しろと云ふと、いつも這麼皮肉な事を云つて謝絶するのである。謝絶されながらも浪子はつい遇ふと勸誘めるのは、波奈子は一體に怜悧な性質でありながら、女學校を卒業した身が唐物屋のお内儀さんとなつて時折は帳場格子の中に座はらなければならないのを心外に思つて、反抗心を燃やして居るのを知つて居るからである。然しいくら心安くなつたお隣家づからとは云へ。

『一貴女は邪慳んで被入るわ。』とまさか女の口としては云へない。一體貳人の住んで居る町と云ふのは造船所もある軍港なので、時折皇族方も被入るし、司令長官の交代とか、戰死將校の葬式とか外の街とは多くあつて從つて愛國婦人會が其れ丈け活動せねばならないので、浪子はよく黑の裾模樣で停車場やお寺へ行く。其の姿を波奈子は見送ると。

『ふん、御苦勞樣の事つた。外の家の事に、其の間に雜巾でもさして置くが何れ丈け經濟になるか知れやしない。』獨言つもの、其の實内心は忌々しくてならないんで、那麼日に限つて芝居見物に出懸るのである。浪子は遊びに來て居て。

『波奈子さん、今日は眞實に奇麗でしたよ、殿下が御到着になつた時、愛國婦人會では昇降口へ並んで居たのでしやう。すると近々と勿體なくも側近く被入つて禮式をなさいますのぢやありませんか。私涙が零れましてよ。然してね、支部長の御孃さんの照子さんと仰有る今年十二歲になる方が花を獻上なさると。嬌然となすつてお受取りになつたのですよ。』

『さうですか……私は今日は芝居へ往つて來たのですよ。久々で菊五郎と梅幸が來て居たもんですから。中幕が辨天小僧で、切りが淸水一角、其りや宜かつたですよ奇麗で……。』

負けぬ氣になつて云ふもの丶劇場の汚れた空氣や喧囂は、到底貴人の迎接の靜肅、尊嚴、に比ぶ可き樣はないので、頭腦の中では無念の情が沸へ繰り回つて居る。何故自分は恁うであらう、斯うも負惜みが強いんだらうと思はぬではないが今更浪子の言に從つて入會するのが何だか屈服したやうな、恥辱の樣に感ぜらるゝのである。すると其から四五日經つてからの事で波奈子の家の親族の足袋屋の息子が、奉天の激烈な戰爭で戰死した遺骨が、何うしたものか到着せなんだのが此の頃になつて漸く到着して來たのでいよ〳〵葬式を行ふ事となつた。親族の事とて波奈子も手傳に往つたが、葬式の時刻になると大勢の町會議員、有志者、赤十字社員、其れに愛國婦人會の會員が皆其ぞれの會員章を胸に飾つて、一杯門口に待つて居る。戰死したとは云へ云はゞ足袋屋の小悴に之程の人の會葬はと嬉しく感じたが、戰死者を産んだ母親は今年六十三歲であるが、息子が戰死した悲哀よりも、這麼に皆さん立派な方が送つて下さると云つて嬉し涙に歔喜んで居るのである。自分も親族であつて見ると受ける身は確に嬉しい。と、波奈子は一大發見でもした樣に胸の躍るのを覺えて、直ぐと表へ出て愛國婦人會員の控の場所に行き浪子を探し出して。

『まあ、此方へ……。』と人の大勢居ない所へと呼んで。

『私は負けました。今日からでも會へ這入ります、私の考へは間違つて居たんですよ。私は受ける人の心持ちを考へなかつたのでした。何だか皆さん徽章なんか附けて禮服を着て被入ると、非常な虛飾家に見へましたもんですからね。そりや大勢の人の中ですから虛飾家な方も被入るでしやうが、其れは其れで關はないんです。目的さへ善かつたならば。枝に刺はあつても咲いて見せ樣と思ふ薔薇は矢つ張り美しいものです、人を歡嬉ばし、滿足を與へるのは立派な事業と今初めて知りました。私は今日からでも入會します。』と言つてしかと浪子の手を握るのであつた。【完】

▲忍耐とは何ぞや

忍耐は剛毅の最善最貴なる部分にして、又最も稀なるものなり、忍耐は總ての快樂と、總ての勢力の根抵に在り、希望と雖も、非忍耐これに伴ふときは、「幸福」たることを罷む。（ジョン、ラスキン）

童話

小さい籠細工人

巖谷小波閱　高階柳陰譯

ある處にエドワルドと云ふ少年がありました、その家は近隣に比のない程富んで居りましたから、自分は何も爲ないで結構に生活せると云ふので、何もせずに毎日ぶら〳〵して遊んでをりました。エドワルドの隣家にヤコブと云ふ同年の兒がありましたが、その者は家が貧しいものですから、幼少い時から籠細工を習つて、最早一人前の仕事が出來るやうになつてをりました。ある日エドワルドは近い河邊へ行つて釣をしてをりましたが、丁度ヤコブもその河岸に水楊が澤山ありますので、その細い條を切つて細工に使ふつもりで、束にしてそれを擔いで家へ歸らうと致しました。ところへ大勢の海賊がやつて來まして、兩人の少年を見、突然捉へて船へ載せて、海へ出て了ひました。海賊はこの二人の少年を外國へ連れて行き奴隸に賣る心算であつたのです。幾日か大きな海を走つて行くうちに、暴風雨が起つて船は覆りまして、乘組の海賊は悉溺れて了ひました。兩人の少年は幸に一つの島に流れ着きましたが、やつと岸へ上つて見ますとその島には恐しい黑人が棲つてゐるのでありました。兩人は黑人を見て吃驚しましたが、ヤコブは何か籠の細工でもして遣つたら正哉害を加へる事はあるまいと思ひましたから、幸懷中に小刀がありましたから、其邊にありました細い枝を切つて、それで奇麗な籠を編んで黑人の酋長らしい者にやりました。かの黑人はそれを見て大さう喜んだやうでしたが、やがて大勢の黑人はヤコブの傍に集つてその細工を見物してをりました。ヤコブは籠が出來るとそれを遣りましたものですから、黑人は大さう喜んで、ヤコブに一軒の家を與へ食物等を澤山持つて來て呉れました。他の黑人は又エドワルドにも籠を製れと命じましたが、エドワルドは何も出來ませんからグヅ〳〵してをりますと、黑人は大さう怒つてエドワルドを殺さうとしました。併しヤコブが助けて呉れと賴みましたので、漸く生命は助かりましたが、黑人はエドワルドが立派な衣服を着てゐるのを見て、それを脫がせヤコブの汚い衣服と取換へさせました。それからエドワルドを小使のやうにヤコブの爲に毎日細い枝を取つて來させました。ヤコブは籠細工にするので大さう可愛がられて少しも苦勞なく生活してをりました。身についてある職は如何樣土地へ行つても食ふに不自由する事はありません。

▲投稿定規▼

一、原稿は總て楷書にて明瞭に認められたき事
一、短文、和歌、俳句は夫れ〳〵別紙に認める事
一、和歌、俳句は相成べく葉書に認められたき事
一、一封筒又は一葉書中へ連名にて原稿を同居させぬやう致したき事
一、原稿には必らず住所姓名を明記されたき事
一、締切期日以後に投稿さるゝ方尠からず、右は甚迷惑に存じ候まゝ期日を堅く守られたき事

『坊は陸軍大將』

久津見蕨村

▲玩具のサーベルを持つて、大跨に歩いて『坊は陸軍大將だ』。これは能く所々の家庭で見かくることとです。誠に愛らしくて而して勇ましく、何んとなく末賴母しいやうに見へるものです。

▲そこで『坊さまはお豪い。陸軍大將で居らつしやる。お強いこと〳〵』と褒立てて遊ばせるが常のやうです。固より豪い方のことを眞似て遊ぶのですから、決して惡いことはない。小さな陸軍大將が巨多出來ても構ひません。

▲併し餘り夫れを褒立てますと子供が頭に乘ります。『ヤア露スケだ、切つて仕舞へ』などゝサーベルを拔き放ちまして家中に荒れ廻はります。それも活潑の遊びですから惡くもないですが、元來斯う云ふ眞似は何んでせう。

▲子供の想像力から出るのです。子供が戰勝の餘榮に釣込まれて、陸軍大將は豪いもの、それはこんなものだらうと想像して、そして其眞似をして威張るのです。ですから素より眞似です。眞實の事ではない。虛僞をやつてをるのです。

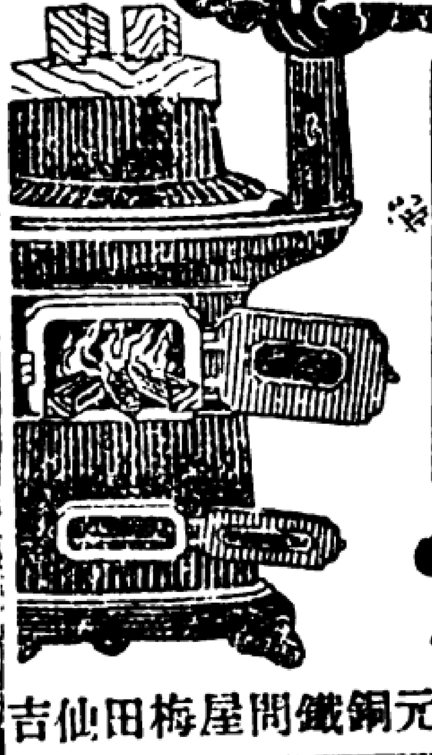
▲併し空事でも僞虛でも、害になることではありませんから構ひませんやうなもの丶、之れは想像に過ぎない、眞似に止まる、空事だと云ふことを能く子供に承知させたいものです。ですからそうして遊ばせるときに、一言『オ、オ、大將ごつこがお上手だこと、眞實の陸軍大將のやうですこと』と云つて頂きたい。

▲さうしますと、これは眞似をしてゐるのだと云ふことが子供の心に明かになります。自から眞事實と空事との差別を覺える助けになります。子供は遊びながらに眞似事と事實、眞と僞、想像と現實との差別を知りませう。

▲遊戲を敎育に利用しますのは斯云ふ所にもあると存じます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

公益 特許 **梅田竈**



石炭、薪、木炭、コークス何でも焚き得る舊竈に比し**五割餘の有益**

保險附御試用卅日間賣價で買戻します

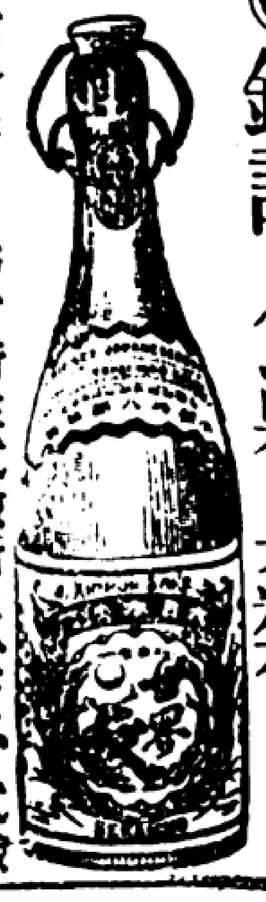
鑄鐵製改正定價表	
一升五合器	金三圓
二升器	金四圓
三升器	金五圓
四升器	金六圓
五升器	金八圓
六升器	金十圓
八升器	金十二圓
一斗器	金十五圓
一斗五升器	金十八圓

●販賣所全國の●
金物商及石炭店

東京市通油町　電話浪花二一〇一
發賣元　銅鐵問屋梅田仙吉

めりんす友禪

最上清酒



◉洋酒 鑵詰　◉洋食料品 食器具類

世界長は内務省衛生試驗所に於て、試驗を經たる最良清酒なり
世界長は今回器械口壜詰として發賣せり
尚殺菌しあれば夏季腐敗の憂ひ毫もなし

壜詰　一升入　四合入　貳合入　一合入の四種

東京日本橋區堀江町四丁目
(通橋てりふり町通り)
發賣元　**高橋商店**
電話浪花一五六一番

東京橘町　浅井本店

文學士　下田次郎氏述
教育思想の變遷 附教育學研究法
全一冊　八十四頁
發行所　東京市本郷區森川町一番地　**育成會**

女學通信教授

●本會は伏見若宮妃殿下を名譽總裁に戴き●鍋島侯爵夫人會長として會務を統監す●小學卒業後進んで高等女學校に入學し難き事情ある女子達は本會の通信教授に依て家庭に居ながら必須の學科を修められよ●本會發行の講義録は高等女學校の科目よりも一層多數の諸學科を網羅し第一流の名家を擇びて講義を囑托せるものなり●本會は高等簡易の兩科を設け女子素養の程度に應ぜしむ月謝は高等科四拾錢簡易科二十錢とす目下入會に都合よし會則は葉書か電話にて請求あれ(電話番町一三三〇)

東京市麹町區下二番町三七　**大日本女學會**

編輯主任　文學士　下田次郎氏
女子教育
第參卷第五號　五月一日發行　定價拾錢

本邦婦人雜誌中最も程度高く歐米最近の婦人に關する論説を紹介し最も讀み甲斐あるもの

發行所　東京市神田區錦町四丁目　**明治書院**

小説 野菊の墓
伊藤左千夫作
中村不折畫
▲美本▲正價金卅錢▲郵税四錢

▲野菊の墓は其の名の示す如く、可憐なる、清新なる田園趣味に富みたる物語にして、著者の悲しき實歴談なり。其の一字一句皆涙にして、民子が哀れなる一生は何人も同情を禁じ得ざる所なり。蓋し時流を拔きたる傑作にして、某氏は之を讀でエノック、アーデンの面影ありと推稱したり。

東京築地二ノ五二　**俳書堂**

五月一日ヨリ夏衣賣出シ并ニ寄セ切レ見切反物等種々取揃陳列有之候間續々御高覽多少ニ不拘御用仰付被下度奉願上候

尚弊店特染ノ中形十種ハ例年御好評ヲ蒙リ候處本年ハ一層意匠ヲ凝ラシ頗ル斬新ニ候間是非共御一覧ノ程願上候

東京神田今川橋
松屋呉服店
電話本局(六八八 七四七)番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎靖國神社大祭に於ける本會の活動

▲補助の方法と其順序　本會は昨年靖國神社臨時祭典の際非常の盡力をなせしが本年は昨年よりも一層好良の結果を得んと豫て報道せる如くこれが準備委員數十名を設け專心其方法を議し役割を定め又別に例年の如く牛ヶ淵公園内に遺族接待所を設け紀念品及び菓子戰捷地圖等を贈與することとせり。

▲參拜所入口　遺族が參拜の爲め蝟集し來り最も混雜を來たせしは參拜入口の受付にして初日の如きは多數の病傷者をさへ出したる程なるが其間に立ちて我役員は祭典委員を補助して一々徽章を遺族の襟に指し與へ混雜の間よりして遺族の手を引き休憩所内に入らしめ土產物を落さぬ樣にと風呂敷に包み遣り夫れ〳〵參拜の手續を敎へつゝありしが此場所の天幕の周圍は人の垣を築き多人數取圍むことゝて人いきれにて蒸し暑きも厭はず役員方は汗を流しつゝ盡力されたるを見受けたり此入口にて參拜する資格を認めたる遺族は柵の中を押しに押されて進むうち柵の此方には又一群の會員控へ居りて豫て我が會に於て包裝したる紀念菓子「國の鎭」三袋宛を順次に渡し持切れずして落すものあれば一々之を拾ひ取つて與へる等丁寧親切に取扱はれたり此處は毎日評議員二三名と支部幹事及び地方より出席せられたる幹事方にて專ら盡力せられたり。

▲參拜後の出口　遺族本社の參拜を終へて階段を降りし處に神官控へ居りて神酒を與へ其左側出口に於て神杯を渡す處となり居り我が役員は此神杯を遺族に渡す役を勤め初日の如きは岩倉會長始め三井監事東鄕高木鳩山三井等の各評議員二日には近衛理事其他の人々別項豫定日割の如く出席し早朝より立ち詰めにて其渡方に盡力され且つ愛國婦人會の紀念品交付切符を此神杯の上に添へたれば之に對し一々說明の勞を執られたれば後ちには咽喉涸れて聲出ぬ程にならられし役員あるをも見受けたり遺族は是れ等貴婦人の前に來つて此神聖なる贈物を受取ることなれば有難涙に咽びつゝ掛員に向つて貴婦人の姓名を聞き鄕里への土產話になさんとするものありき。

▲接待所　牛ヶ淵公園内なる廣場に設け此度び新たに据付けられたる沙河停車場より鹵獲したりと云ふ彈痕斑々たる大給水器を中央に取圍み三方に紅白の幔幕を打ち張り中央二ヶ所に萬國旗を揭げ場の小高き處の天幕を奏樂所となし堀に面して楊柳濃かに翠滴らんとする處に本部を置き若葉せる櫻樹を回らして一號より十五號までの天幕を張りて假屋を設け其番號により其日其机にて盡力せる職員の氏名を書き出し本部をば紀念品渡場となし紀念品としては總裁閑院宮妃殿下御染筆の、和歌「花を見て思ふ心を」との題に「いまはとて散るを惜しまぬ武夫の心に似たる山櫻かな」との軸物と愛國婦人會徽章形の煎餠一袋づゝ及び戰捷紀念地圖とを紀念品交付券と引替に渡せしが初日には大山理事始め細川、戶田、三井、阪井、宇佐川等の評議員始め毎日豫定の職員詰切り紀念券を持參する遺族をば一一本部に導きて紀念品を渡せり一日分の入場者凡そ三千餘人初日の如きは四千餘人にも達し且つ一度に十人二十人と群を爲して詰掛くることゝて本部詰員の繁忙一方ならず晝食を調ふる隙もなき有樣なりし夫れより遺族を休憩所に導きて茶を與へ菓子を薦め東京朝日新聞社寄贈の新聞紙を與へなどして遺族の淚ながらに物語る戰沒者の消息を聞き又は拜觀の場所割引券の說明等を爲し丁寧親切を盡し餘興としては前記の音樂隊の外に手踊等ありて其溫き接待振りには遺族一同感激の涙に堪へざるもの、如く中には大山侯爵夫人の手より軸物を賜はりたりとて土下座して拜する老人もありたり奧村刀自は毎日午前は神社に午後は接待所に來りて大に盡力せられたり

◎遺族接待分掌規定

大祭執行當日軍人遺族接待に關して左の規定を設け役員諸氏は誠意熱心を以て其の擔當事務を執られたり。

一　本部

本部ハ左ノ役員ヲ以テ組織ス

會長、理事、監事、評議員（主ニ大祭準備委員ヲ以テ之ニ充ツ）若干名、顧問、會計監督、事務長、

本部ハ當日金錢ノ統一ヲ圖リ一般ノ事務ヲ處理ス

本部ニ庶務、會計ノ二課ヲ置キ本部役員ノ旨ヲ受ケテ事務ヲ分擔セシム

庶務課ハ文書、接待、其他諸般ノコトヲ擔當ス

會計課ハ金錢出納、用度、會場設備ノコトヲ擔當ス

二　席場整理係

席場整理係ハ當日席場ノ設置餘興等ノ準備ヲ爲シ兼テ來會者ノ混雜ヲ豫防シ席場ノ秩序ヲ維持スルコトヲ掌トル

三　參拜遺族接待係

參拜遺族接待係ハ來會者ノ徽章及入場券等ヲ調査シ其送迎ヲ掌トル

參拜遺族接待係ハ贈品ヲ會計ヨリ受領シ置キ遺漏ナク之ヲ參拜遺族ニ贈呈スルコトヲ掌トル

參拜遺族接待係ハ紀念品贈呈ノ際必ス紀念品贈呈券及ビ支部ヨリ參拜遺族ニ交付シアル案内狀ヲ受取置クコト

但シ支部案内狀ヲ持參セザル遺族ニ對シテハ贈呈券ノ裏面ニ戰死者ノ官姓名遺族ノ姓名及住所姓名ヲ記載ナシ置クコト、ス

四　本規定ハ主ニ牛ヶ淵公園接待所詰役員心得ニ關スルモノナレド神社詰モ之ニ準據スルモノトス

一　本部役員割

會長　公爵夫人　岩倉久子

理事　公爵夫人　德川泰子　公爵夫人　島津田鶴子　侯爵夫人　大山捨松子　侯爵夫人　山内禎子　前公爵夫人　近衛貞子　前公爵夫人　毛利安子　侯爵夫人　鍋島榮子　子爵夫人　谷玖満子

監事　公爵夫人　九條惠子　男爵夫人　三井苞子

評議員　前伯爵夫人　井伊常子　前伯爵夫人　酒井鏗子　子爵夫人　香川須磨子　男爵夫人　黒木百子　男爵夫人　神山萬佐子　大藏松子　長岡芳子　藤井とく子　福島貞子　寺内瀧子　有島幸子　三井五十子　三井壽天子　仁杉歌子　關郁子　伯爵夫人　德川知子　伯爵夫人　酒井夏子　男爵夫人　河村淸子　男爵夫人　松平須磨子　鳩山春子　東鄕鐵子　内山訓子　山脇房子　後閑菊野子　鄕濵子　阪井春子　稅所永子　島田信子　弘田增子

顧問　公爵　二條基弘　侯爵　大山巖　子爵　谷干城　男爵　淸浦奎吾　男爵　千家尊福　陸軍中佐　堀内文次郎　公爵　島津忠濟　伯爵　大谷光演　男爵　松平正直　男爵　澁澤榮一　海軍大將　東鄕平八郎　閑院宮家令　松井修德

會計監督　陸軍少將　佐藤正　從五位　高橋新吉

事務長　子爵　松平直敏

一　席場整理係

理事　公爵夫人　德川泰子　侯爵夫人　山内禎子　侯爵夫人　大山捨松子

監事　公爵夫人　九條惠子

評議員　侯爵夫人　蜂須賀隨子　伯爵夫人　大隈綾子　子爵夫人　本多延枝子　伊澤千世子　原禎子　長野秀子　浦田經子　前伯爵夫人　藤堂量子　前子爵夫人　岩倉梭子　男爵夫人　内海千代子　穗積松子　川目はま子　山本たほ子　麻生鋒子

尚ほ神社詰、接待所詰役員割は十ページに詳記せり。

資本金八千百萬圓

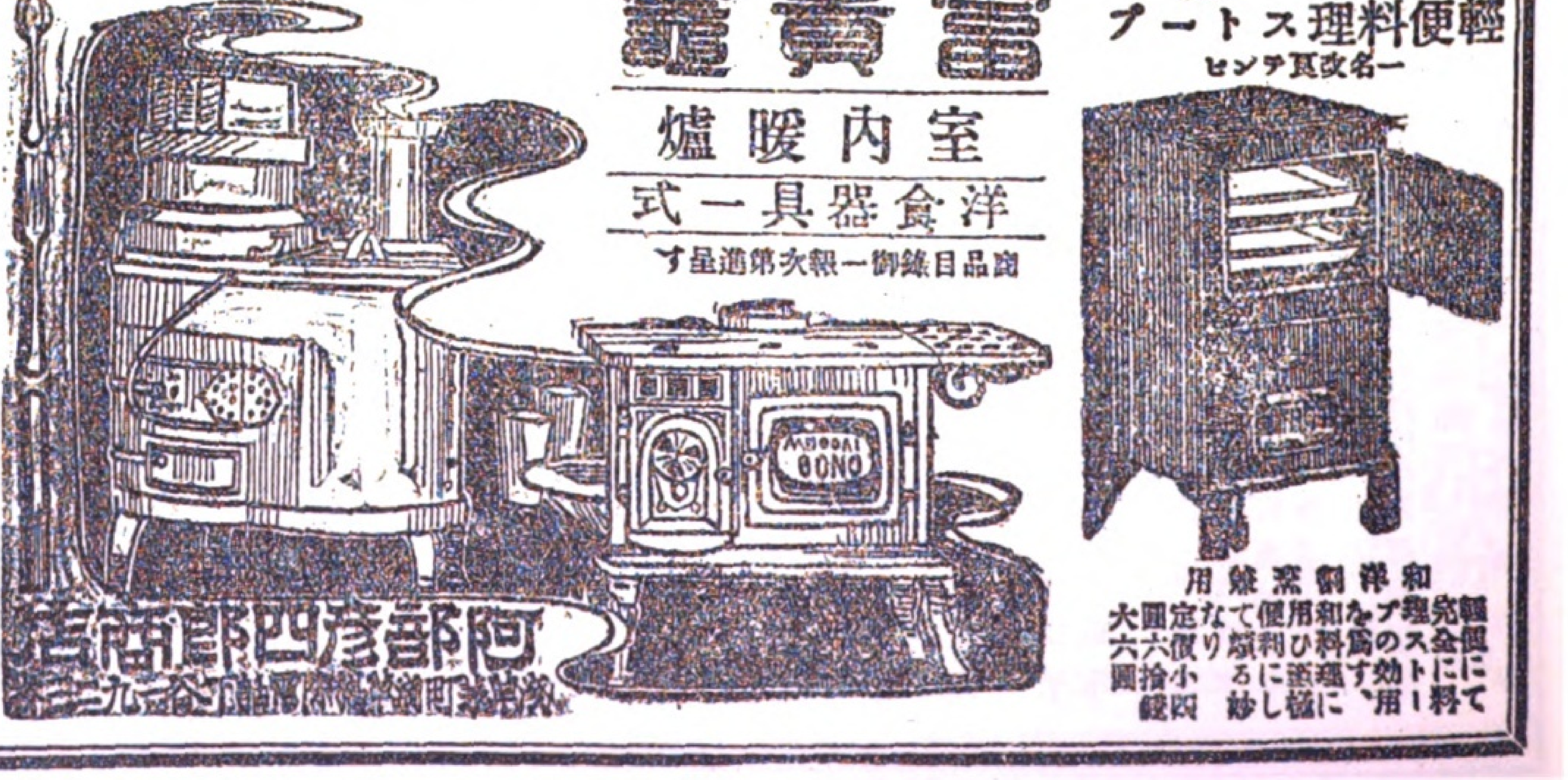
東京京橋區木挽町　株式會社　十五銀行　電話新橋　一三〇番　一五三〇番　一九三三番

同日本橋區新乘物町　同　日本橋支店　電話浪花　一九〇一番　三二七四番　三五〇八番

一　定期預金　六ヶ月以上年五分

一　當座預金　日步七厘以下

一　特別當座預金　同　壹錢



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

神社詰役員姓名及出席日割

五月二日

會長 公爵夫人 岩倉久子
監事 男爵夫人 三井壽子
評議員 公爵夫人 二條治子　伯爵夫人 松平光子　子爵夫人 松井正子　男爵夫人 西喜美子　男爵夫人 神山万佐子
幹事 子爵夫人 細川岡子
理事 公爵夫人 德川泰子
侯爵夫人 黒田清子　子爵夫人 曾我晨子　子爵夫人 松平雅子　男爵夫人 堀常子　外十五名
外二十五名

五月三日

理事 前公爵夫人 近衞貞子
評議員 侯爵夫人 池田亨子　伯爵夫人 阿部篤子　子爵夫人 松平八百子　男爵夫人 尾崎八重子　外十六名
幹事 飯塚里子
侯爵夫人 山内禎子
侯爵夫人 佐竹静子　子爵夫人 戸田時子　子爵夫人 秋元宗子　男爵夫人 清浦錬子
外二十五名

五月四日

理事 公爵夫人 島津田鶴子
評議員 侯爵夫人 細川季子　伯爵夫人 酒井夏子　子爵夫人 松平鎮子　男爵夫人 井上光子　男爵夫人 黒木百子　外十四名
幹事 子爵夫人 加納銈子
子爵夫人 谷玖満子
伯爵夫人 板垣絹子　子爵夫人 岡部坻子　子爵夫人 佐竹環子　男爵母堂 大寺常子　男爵夫人 菊池辰子
外二十五名

五月五日

理事 前公爵夫人 毛利安子
評議員 侯爵世嗣夫人 德川久子　伯爵夫人 佐々木貞子　前子爵夫人 山口キチ子　子爵夫人 兒玉松子　男爵夫人 川村清子　男爵夫人 澁澤兼子
幹事 華族 由利季子
侯爵夫人 鍋島榮子
伯爵夫人 戸田極子　子爵夫人 小笠原秀子　子爵夫人 松平保子　男爵夫人 花房鶴子　男爵夫人 松平須磨子　外十三名
外二十五名

五月六日

理事 侯爵夫人 大山捨松子
評議員 侯爵夫人 伊達孝子　子爵夫人 伊東美津子　子爵夫人 鍋島暉子　男爵夫人 松平靭子　男爵夫人 高木富子　外十五名
幹事 男爵夫人 長松すか子
監事 公爵夫人 九條惠子
伯爵夫人 樺山登茂子　子爵夫人 田村貞子　子爵母堂 山地謙子　男爵夫人 長谷川辰子　男爵夫人 千家俊子
外二十五名

牛ヶ淵公園軍人遺族接待所詰役員姓名及出席日割

机號	五月二日	五月三日	五月四日	五月五日	五月六日
机號一	評議員 侯爵夫人 細川季子 有島幸子 幹事 四名	評議員 侯爵世嗣夫人 德川久子 澤よし子 幹事 四名	評議員 侯爵夫人 伊達孝子 阪井春子 幹事 四名	評議員 公爵夫人 二條治子 寺内瀧子 幹事 四名	評議員 侯爵夫人 池田亨子 後閑菊野子 幹事 四名
机號二	評議員 伯爵夫人 板垣絹子 近藤從子 幹事 四名	評議員 伯爵夫人 戸田極子 麻生肇子 幹事 四名	評議員 伯爵夫人 樺山登茂子 鄕濱子 幹事 四名	評議員 侯爵夫人 黒田清子 佐藤龍子 幹事 四名	評議員 侯爵夫人 佐竹靜子 跡見花蹊 幹事 四名
机號三	評議員 伯爵夫人 酒井夏子 佐方鎮子 幹事 四名	評議員 伯爵夫人 佐々木貞子 小浦義子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 伊東美津子 佐藤律子 幹事 四名	評議員 伯爵夫人 松平光子 佐々木よし子 幹事 四名	評議員 伯爵夫人 阿部篤子 片岡たま子 幹事 四名
机號四	評議員 子爵夫人 岡部坻子 男爵夫人 井上光子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 小笠原秀子 菊池政子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 田村貞子 三輪田眞佐子 幹事 四名	評議員 前子爵夫人 岩倉楨子 三井顯子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 戸田時子 穂積松子 幹事 四名
机號五	評議員 子爵夫人 鍋島暉子 三井壽天子 幹事 四名	評議員 前子爵夫人 山口キチ子 子爵夫人 松平保子 幹事 四名	評議員 前子爵夫人 山地謙子 島田信子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 曾我晨子 澁谷知和子 幹事 四名	評議員 前子爵夫人 鍋島易子 三井五十子 幹事 四名
机號六	評議員 子爵夫人 松平鎮子 弘田増子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 兒玉松子 仁杉歌子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 松平靭子 森村菊子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 松井正子 關郁子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 松平八百子 下田歌子 幹事 四名
机號七	評議員 子爵夫人 佐竹環子 棚橋絢子 幹事 四名	評議員 男爵夫人 花房千鶴子 長岡芳子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 長谷川辰子 南鄕柳子 幹事 四名	評議員 子爵夫人 松平雅子 安田房子 幹事 四名	評議員 男爵夫人 秋元宗子 園田銈子 幹事 四名
机號八	評議員 前男爵夫人 大寺常子 津田梅子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 河村清子 室田せい子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 高木富子 武田錦子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 西喜美子 高木毅子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 尾崎八重子 三井晴子 幹事 四名
机號九	評議員 男爵夫人 黒木百子 伊澤千世子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 松平須磨子 嘉納須磨子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 千家俊子 川目はま子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 堀常子 浦田縫子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 内海千代子 長井とし子 幹事 五名
机號十	評議員 男爵夫人 菊池辰子 中井かれ子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 澁澤兼子 高橋すゞ子 幹事 五名	評議員 宇佐川積子 山本たほ子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 神山萬佐子 奥村五百子 幹事 五名	評議員 男爵夫人 清浦錬子 辰野秀子 幹事 五名
机號十一	評議員 柳谷千代子 大浦こう子 幹事 五名	評議員 波多野爲子 原礎子 幹事 五名	評議員 伊集院繁子 片山龜子 幹事 五名	評議員 華族 松平逸子 中山幸子 幹事 五名	評議員 岩佐德子 原口聞子 幹事 五名
机號十二	評議員 濱尾作子 穂積歌子 幹事 五名	評議員 山脇房子 大迫陸子 幹事 五名	評議員 早川里子 尾崎英子 幹事 五名	評議員 鳩山春子 福島良子 幹事 五名	評議員 松村學子 佐藤律子 幹事 五名
机號十三	評議員 三井榮子 幹事 五名	評議員 税所永子 幹事 五名	評事員 保利久土子 幹事 五名	評議員 大藏松子 幹事 五名	評議員 新山雅樂子 幹事 五名
机號十四	評議員 松浦島子 幹事 五名	評議員 大谷かち子 幹事 五名	評議員 仁尾繁子 幹事 五名	評議員 東鄕鐵子 幹事 五名	評議員 豐島文子 幹事 五名
机號十五	評議員 渡邊いれ子 幹事 五名	評議員 古市幸子 幹事 五名	評議員 佐藤靜子 幹事 五名	評議員 藤井とく子 幹事 五名	評議員 内山綱子 幹事 五名

支部出席役員氏名

神奈川支部

支部長 周布貞子
支部副長 谷口美代子
同 市原かれ子
幹事部長 白根奈美子
同 國松汐子
同 新山ツタ子
同 石川川鶴子
同 北村暢子
同 渡邊玉子
幹事 高木こう子
同 岡野政子
同 石井靜子
同 倉橋寛子
同 石井磯子
同 淺水この子
同 鈴木鎮子
同 田沼ナル子
同 淺岡珠子
同 脇澤タミ子
同 宮島常子
同 有泉幸子
同 山崎ラク子

埼玉支部

支部長 大久保榮子
支部副長 黒田哲子
同 石橋滋子
評議員 平野常子
同 山田津那子
同 早川まさ子
同 田中好子
同 高橋ふみ子
同 市川峯子
同 大島鶴子
幹事 若干名

群馬支部

支部長 吉見悦子
幹事 三浦ふみ子

千葉支部

支部長 石原靜子
副長 樋脇朝子
評議員 瀧川竹子
同 新妻美春子

茨城支部

支部長 寺原松子
支部副長 田中輝子

山梨支部

支部長 武田濱子
支部副長 桑原雎子
幹事 飯島淑子
外若干名

沖繩支部

支部長 男爵夫人 奈良原賀子

臺灣支部

支部長 男爵夫人 後藤和子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨國ランゲ女史原著
米國クレム氏英譯
同ハリス氏序言
立柄教授村田耕藏抄譯

歐米女子教育

此書は有名なる獨逸のランゲ女史が、自國の女子教育の餘りに保守的なるを慨き、英國女史教育の進歩を說き、併せて歐州他諸國に論及したるものを、更に米國人の爲に、米國に於て歐州の教育に精通せるクレム氏が、之を英譯し、彼の有名なる米國教育長官ハリス氏が序言を附して自己の萬國教育叢書中に之を納めたるものなり。現時我國の女子教育問題は猶ほ解決せられざるもの多し。譯者は此書をして我が教育者の參考たるを得しめん爲に本書を譯されたるなり。幸に有志の士一讀の勞を惜む勿れ

洋裝全一册
定價五拾錢
郵稅金六錢

女醫　大八木幸子先生編著

實用家庭看護法

本書は著者が數年家事講習會及女學校に於て家庭の看護法を敎授せられたる經驗と豐なる學識と實驗とにより女學生諸君の參考書として編成せられたるものなり即ち藥の用ひ方病人の介抱外傷其他急病の手當傳染病の心得種々の病の容體及看護小兒の病氣に就ての注意妊娠分娩産褥の心得等を實地應用的に精細に說明し繃帶人工呼吸の如きは圖を以て示したるにより最も了解し易く文部省家事科受驗者は勿論必ず座右に備へて參考とすべく一般女生に看護の心得の必要なるは喋々を俟ず又家事の主任となりたる婦人にも此道の心得となる事少なからず乞ふ一讀あらんことを

洋裝全一册
定價金
六十五錢
郵稅金六錢

發行所　東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地（電話本局二一六三番）　目黑書店

◉村井弦齋著　◉五月十五日發行　速に御注文あらざれば品切れとなる恐れあり

增補註釋 食道樂續篇　春の卷

定價八十錢
郵稅十錢

◉口繪　◉村井弦齋及多嘉子肖像　弦齋夫人着用弦齋式料理服寫眞版
◉附錄　新案野菜料理百種　是は弦齋居士が實驗の上考案したる新式の和洋折衷料理なり
◉發行所　報知社出版部　東京麴町區有樂町　三大賣捌所　東京銀座大通新橋際　新橋堂書房　東京神田區表神保町　東京堂書店

◉宮內省大膳職　赤堀吉松先生
◉日本女子大學敎授　赤堀峯吉先生
◉東京女學館敎授　赤堀菊子先生　共著　◉新刊

家庭應用 總菜五百種

和本美裝菊版
三百四十餘頁
定價金七十五錢
小包料金十錢
臺灣滿韓金三十錢

本書記載の料理法は悉く實用的にして而かも種類極めて多く用語平易說明懇切何人にも直ちに了解するを得べし
◉發行所　東京市銀座大通新橋際　新橋堂書店
◉賣捌所　全國各地書店雜誌店

世界のしんぶん

◉露の道路　露國ポーランドのワルソーといふ町にては諸處に露を捨し固めたる丸太棒にて作られたる道路あり、と此道路は大變に固くして充分用に堪へるといふ

◉信神なる島　は南洋ゴノアトアといふ處にして老若男女とも一週に少くも三度教會に行かぬものは縛られて罰金を取らるゝ程、神信心の地なりと、因に此罰金は其地の王樣の所得となるといふ

◉賭博稅　佛國にては政府の許を得て賭博に類したる取引多く行はるゝ由なるが百分の一の稅を取らるゝ事となり居りて此の稅の高は昨年中にて九十六萬圓なりしと、此金は貧民救助費に用ひらるゝなりといふ、

◉世界大地圖　は目下一百万分の一の大さにて作られつゝあり、世界各國の代表地理學者の手にて作らるゝ由なるが、全圖は四百三十七枚に分ちて其內六十九枚は昨年三月中に完成せし由、地圖の大さは一マイルにつき五厘の割合なりといふ（日本の一里にて、一分二厘五毛の割）誠に面白き計畫といふべし、

◉スペイン國の婚禮　には面白き風習あり、富者は早朝に式を行ひ、身分低くなるに從ふて順々に遲くなり貧者は夜分禮式を擧るといふ、

◉以太利國ヴエニス市　の電燈は必ず地上一丈一尺以上の處に點ずる事なりといふ、夫より下の方にある電燈は通行人の眼に害あるものと定めありといふ、

◉世界最小の貨幣　マレイ半島には木の脂の凝りたるものにて作られたる煎餅形の貨幣ありて其價は我凡そ四錢の千分一に當るといふ、

◉木材の壽命　木材は最適當なる場處にある時は其耐朽力非常なるものにして、信ぜられぬ程なりといふ、西曆紀元前二三千年前に作られたる墓の內よりして木切れ、木槨等の取出さるゝものありて頗る丈夫になるものなりといふ、

◉ニューヨーク　の人口は急に增加したるものなるが、全地の人は今より十四年後には世界一の人口多き市となるべしと望み居れり、或る委員の說に曰く、近頃の統計によれば其時代にはニューヨーク市は人口九百八十四萬以上の多數となるべしと又其頃ロンドンは人口八百九十四万圓となる計算なりといふ、

◉露西亞の泣男　セントペタルスブルグにては泣男の職は所得の多きものなりといふ、全地には泣男取扱人なるものありて、浮浪人又は貧民を雇ひ居れる由なり、取扱人は泣男に衣服及ハンケチに至る迄貸し與へて、使用すれば、只靴のみは自分持にて此が泣男の財產なり、多少大切なる葬儀ある時はニコルスキ町といふ處に貧民多く集り來るを取扱人の番頭來りて撰り分けて雇ふといふ、給料は心付ともに一回一圓五十錢に當るといふ、

◉慈善金　ロンドン市長の手にて去る十ケ年間に集めたる慈善金の高は二億圓以上なりといふ、

◉北米インデヤナ州　コ、モといふ處には一棟の家に十六歲の母と三十二歲の祖母と五十二歲の曾祖母住み居れりといふ、早婚驚くべし、

◉贅澤國　とはスペインの事なり全國にては一年間に葡萄酒に六千二百万圓、煙草に五千万圓、富籤に四千万圓、鬪牛戲に二千七百万圓及休日の爲めに二千五百万圓を費すといふ、

◉黑暗の說敎　英國ノーリチに於ては勞働者の爲めに夜分の說敎あり、こは貧困者も暗き處故自分の衣服などにつき恥しき事なき爲なりといふ、

◉雀の蕃殖力　は驚くべきものにて、只一番より十年間に二億七千万羽以上の子孫を生ずる力ありといふ、

本品は時代の要求により生れたる最新最良の洗粉也

カメリヤ洗粉

あらひこ

カメリヤは一家傳來的なる陳腐の原料を用ひて製せるものと全く其質を異にし最も皮膚の衛生に適する劑料を特選し斯道大家の學理に基き極めて完全に配合せるものなり
皮膚を清潔に色を白くしきめを細かに艶をよくし肌を滑かならしむる點に於て他品に見る能はざる特長を有す
カメリヤは愛すべき香氣を有し一度之を用ゆれば花香芬々永く身邊に止り自ら爽快ならしむ

定價瓶入十二錢袋入五錢小袋入三錢

本舖　ライオン歯磨發賣元　東京神田　小林富次郎

幸福を望む婦人に告ぐ

姻內新泉君新著（本書は我家庭文學の主唱者たる君が多年苦心の傑作也）

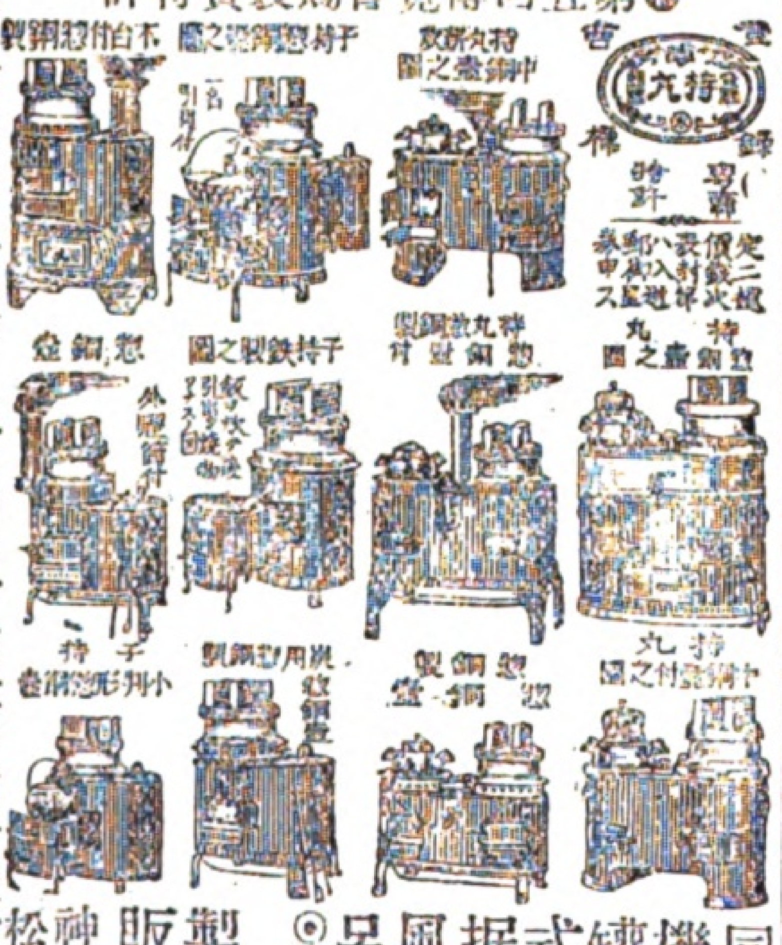
娘に與へたる母の書翰

◎幸福なる婦人として一生を悲嘆なく送らんと欲する母と妻と娘は之を讀まざる可らず
◎本書は或は世才と經驗とに富める賢母が愛娘の幸福を祈るの餘り隨時書信として女子處世の要訣を敎へ境遇に從ひて千態萬樣の妙を極め更に加ふるに女子の家庭的の心得悉く家政的衛生的社交的を詳說し熱誠滿幅何人も必ず一讀すべき一大良書なり

◎大阪美本全一册
◎正價四拾錢
◎郵稅六錢
◎但し切手代用ならば一割增の事

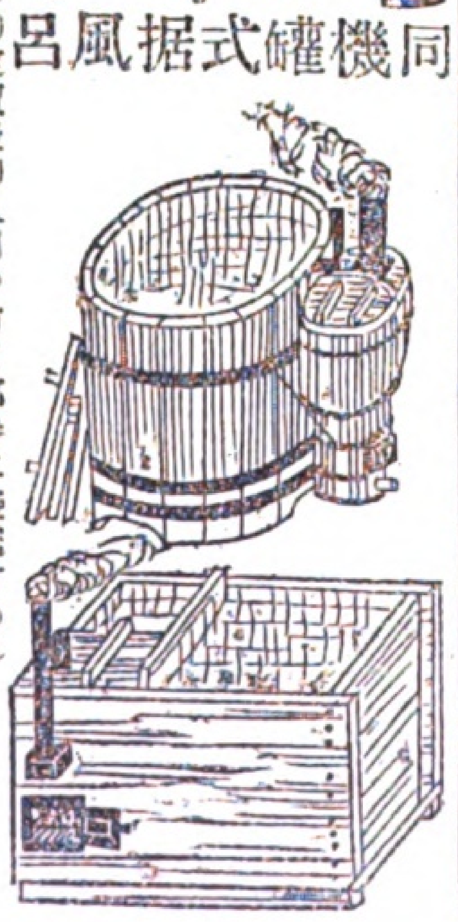
東京京橋區南紺屋町　實業之日本社

◉第五回博覽會賜褒賞特許



同機罐式据風呂

◉定價表御入用の方は郵券二錢送付あれ



◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱

製造　日本橋區蠣殼町二丁目十五番地　名和商店
販賣元　神田區和泉橋通松永町十八番地　名和支店　電話浪花千百七十七番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

釀造元 千葉縣野田町 茂木七郎右衛門 電信略號（キ）（ク）又（ヘ）（ク）

最上醬油 キハク印

於聖路易博覧會 名譽大賞牌受領

キハク印醬油の味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店 日本橋區小網町三丁目 中野長兵衛 電話浪花五七七番

甲斐絹屋

本店 神田區小川町 電話本局四八九番

支店 京橋銀座貳丁目 電話新橋八三三番

桃山式模様花緒
桃山形御履物各種
桃山式利休草履
貴婦人用 千代田草履

地方御注文ノ節ハ最モ迅速ニ引換小包ヲ以テ御送附可申候
市内ハ電話ニテ御注文次第直ニ店員相伺可申候

東京市淺草茅町 香取屋本店 電下千百九十二番

五月廿日開業 大阪市南本町二丁目 香取屋支店

英學生

萬朝報記者 山縣五十雄 執
英文記者 斯波貞吉 筆

明治卅七年天長節創刊

最もやさしく面白く美麗なる英文雜誌

毎號詳密なる註釋と附録とは初學者も讀むを得べく獨學者には頗る便利、實用英語を學ぶには本誌を讀むに限る、毎月二回發行

定價一冊僅に三錢 郵税五厘 半年分郵税共四十錢、はがきにて申込まれなば見本進呈す

發行所 東京市神田區表神保町 東西社

夏物新荷到着

一婦人洋服地及袴地、帽子、造花、羽根、手袋、沓下、日傘、リボン、シャツ、ショール、櫛、レース類、ハンカチーフ、コールセット、レースカラ、ナプキン、テーブルクロース、窓掛、化粧品一式

其他洋織物及小間物各種

婦人洋服調進仕候

東京麹町區麹町二丁目七番地 八木屋號 大國市藏 電話番町七四二番

登録商標

都足袋粋乃友

三越呉服店裁縫所

東京日本橋區室町三丁目

龜屋足袋店

宮内清兵衛

電話本局一七一二番
電信略號（カメヤ）又（カ）

帝都唯一受賞袴

小町印 學生袴

御袴部 日本橋區彌生町 永井本店 電話浪花一八四一番

小賣部 神田南神保町 永井支店

東京市日本橋區小舟町三丁目

株式會社 第三銀行

電話浪花四四二 浪花四五一番

預金利子

定期預金 六ヶ月以上 年五分
當座預金 百圓に付日歩 八厘
別口當座 同日歩 壹錢
全國送金 無手数料

其他銀行一般の業務を便宜取扱申候

FORMALIN SOAP

ホルマリン石鹸

◎殺菌防腐皮膚病一切によろし
◎養蠶家手洗消毒に最もよろし

消毒專用 化粧用 洗濯用

本舗 藥種問屋 東京市日本橋區本町三丁目七番地 圓城商廛

電話本局一四四三番

特別大販賣 東京本銀町三ノ十三 仲德商店

消化新藥

工學博士高峰讓吉氏に由て發見せられたる有名なる胃腸新藥タカヂアスターゼは粉末錠劑水劑の數種として各藥店に販賣せらる

摸造品數多あり必ずタカヂアスターゼの名稱及弊店名義に御注意

本劑に關する説明書は御申越次第贈呈す

東京市南茅場町二番地 三共商店藥品部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

題『我が愛する動物』

▲鶴　大阪　富永才子

我は長壽を以て稱へらるゝ鶴を愛す、愼重なる彼は常に好配を常磐木に求めて花木に契らざるなり、彼は千年の操を愛して瞬時の色に迷はざるなり、其の見識の高き蓋し人の是に及ばざるものあらん、而も其の子を思ふの情また人性に劣らずとかや、蒼々たる老松の梢に雙鶴相舞ふは最もめでたく、幽邃閑雅なる神苑のあたり、丹頂をふるひ雪翎を翻して悠々と遊べるは、亦なく神々しきものぞかし。

▲鷄　東京　濱田直子

去年彌生の中旬、乳母の許より鷄の雛乞ひ受け歸りて飼育みけるに、今は早や家族に懷きて愛らしさ一方ならず、其の中にても姉君は白きブラマを愛で給ひ、妾は肥えて雄々しきコーチンを好む、朝露滋き園の小草に餌あさり、懶げなる時と雖も、吾等の跫音聞きては嬉しげに尾羽打ち鳴らして慕ひ寄る、而も吾等はこの鳥に朝な〳〵早起を勸めらるゝぞ恥し。

▲犬　京都　磯谷澪子

人は萬物の靈長といへど、なほ鳥獸の類にも劣りし樣なる人の多き現世ぞいと愛し、わが愛する犬にベルとなんよべるがあり、花の朝、月の夕べいつも變らぬ目もて向へよる樣のいと嬉しげなる、或は物思ひける折だにいつしか誘ひ出されて共に遊ぶなど、言葉こそ通はね、愛する者を慕ひ來る愛らしの心根は、なかなかに物いふ人にも增て又なく嬉し。

▲犬と猫　群馬　伏島たき子

わが家に「白」となづけたる黒き姿のむくつけきには似ず性優しき大犬と、鼠をよく取れよとて名をも「とり」と呼びならしつる、三毛の猫とあり、僅に三日養はれたりし主恩を三年が程は忘れずとか云へるやう、情深きは犬なりけり、物より歸れる折などは走り來りて肩へ飛びつき、尾を掉り狂ひ、はねまわり、あたら晴着の袖に彼が足の跡つけらるれど、例の事なれば驚かれもせず、それ、おみやぞと、菓子二つ三つ投げ與ふれば、喜びて食ふ樣愛らし、さはれ猫もいとほしからぬにはあらず、かく文物する間も、はや膝の上にて咽喉ならしつゝ眠れる見れば、いひしらず可愛きぞかし。

▲蟻　北海道　武田久良子

朝夕傍にありて媚を呈する犬猫の類は珍しくもなし、妾は彼の營々として倦厭の態なく自活の爲にいそしめる蟻を愛す、妾人として彼の小蟲に劣らざらんことを是れ勉むと雖も及ばぬ節のいと多し。

作歌披露　星

○水のことすみわたりたる大空に流るゝ星の影も見えたり　愛知　市橋幾子

○むら雲は北ふく風に拂はれて動かぬ星の影そさやけき　函館　神尾登女子

○野に山に花見くらしてかへるさの道のしるへや夕つゝのかけ　東京　鈴木菊子

○月落て山の端しらむ曉の空にかゝやくあか星の影　兵庫　乾榮子

○雨雲の晴しみそらに二つ三つきらめきそむる夕つゝの影　大阪　富永才子

○花の露ちりしく庭の池の面にうかへる玉やあかほしの影　鳥取　近藤しづ子

○夕からすかしましかりし聲たえて三つ四つ星の見えそめにけり　京都　渡邊豐子

○むらからす啼きつれかへる夕まくれ空には星の見えそめにけり　群馬　伏島たき子

○むらからす聲する方に二つ三つ星の光そきらめきにける　德島　古田梅子

○くもりなき天津みそらをなかむれはつらなる星の數もしられす　石川　新田暉子

○春の日は花のふゞきにくれそめてまたきにみゆる夕つゝの影　東京　瓜生保子

○久かたの雲の上なるほしのかすひかりさやけくてりまさるかな　東京　長盟錠子

○雲もなく霞もはれし大そらにみつるは星の光なりけり　長崎　葛原梅香子

○晴わたるみそらもくらき暗の夜は星のひかりそさやかなりけり　京都　金澤收子

○かへるさの家路をいそく山道にきらめきわたる夕つゝの影　岡山　谷登め子

○そこはかとそゝろあるきに日は暮て家路をたとる星つきよかな　岡山　武田須磨子

○よのなかに嬉しきものは雨雲のたえまをもるゝ星の影かな　山口　末田貞節子

○雨はれし夕の空の雲間より三つ四つ五ついつる星かな　青森　田島正子

○しゝみ貝拾てかへろうなゐらか手桶の水に星そうつれる　山形　阿部さゐ子

○暗の夜はわけてしるくも見ゆるなりかすもしられぬ星の影かな　和歌山　踏戸常子

○くれかゝる空うちあふきうなゐらかきそふてよめる星の數かな　東京　三宅ひさ子

○籠に入れしなつの螢のこゝちしてかすめる空にみゆる星かな　函館　龍岡とし子

○水の上にうつれる星をとらんとて手を出す子のいとけなきかな　茨城　嶋田喜代子

○うれしくもあきふみろかな雨はれし夕の空にてる星のかけ　愛知　平松いと子

○うなゐ子か二つとかそふおゆひより數しけりそふ星の影かな　埼玉　山崎匡子

○宵のまに降りにし雨や洗ひけんいとゝかゝやくあか星の影　青森　佐藤楓子

○花みんとあすを契りし今宵こそきらめく星そたのみなりけれ　宮城　渡邊作代子

荻原きだ子

○かきりなき御代のためしやあめつちとともにたえせぬあか星の影　兵庫　清原千代子

○天の川なかるゝ星の數こそははまの眞砂のつきせぬかこと　京都　磯谷澪子

○人の世に星もならひて天津そらともに光をみかくなるらん　山口　國佐春子

○數しれぬみそらの星や世の人のなすわざ多きためしなるらん　函館　佐多益子

○むら雨のはれて限なき大空に數さへしけく星のきらめく　函館　安藤喜美子

○はてもなき雲の行方をおもひつゝみあくる空に星ひとつとふ　函館　佐藤かつ子

○はるさめのはれし雲間にきらきらとみゆるや星の光なるらん　兵庫　下岡松枝

○旅せんとひよりまたるゝ夕くれは星の影のみなかめつるかな　愛知　山田志津子

○　埼玉　森田竹子

○夕まくれ門への小道さまよへは夕つゝ高くにほひ出にけり　青森　鈴木安子

○夕されは星の光のあらはれてみちしるへせる君かみよかな　埼玉　加藤美代子

○春の夜のおほろなれとも星のみはいつもかはらぬすかたなりけり　岡山　中西倉子

○はれわたる空にきらめく星の影その數さへもしられさりけり

天　小包や母の惠の初袷　愛知　市橋幾子

地　順禮に出る旅の日や初袷　東京　柿崎瀧子

人　初袷帶のゆるみの長さ哉　東京　三宅久子

袷着て母に手をつく乙女哉　東京　挴野保子

初袷髮美しきをみなかな　埼玉　水野淑子

肩上げのとれて恥かし初袷　東京　金子すて子

見る人も着る人も輕し初袷　京都　磯谷澪子

心まて變つた樣ぞはつあはせ　兵庫　乾榮子

兄弟と知るや揃ひの初袷　東京　臼井以志子

旅立や仕度も輕き初袷　廣島　小田信子

老ゆくや去年の袷の身に餘る　東京　鈴木芳枝子

子に着せて微笑む母や初袷　東京　押田こと子

朝風にたもとも輕し初袷　群馬　伏島たき子

卒業式晴れに着替へて初袷　東京　黒川順子

着心のはや輕くなる初袷　熊本　齋藤咲子

手仕事もはかとり勝や初袷　東京　加藤清子

妙齡や桃山式の初袷　函館　佐藤かつ子

神前にぬかつく人や初袷　東京　河村江都子

水仕事して露けり初袷　東京　木村こま子

はだ寒し月待つ夜半の初袷　熊本　上村曉子

里人の御寺參りや初袷　石川　新田暉子

遣旅をはたつる回や初袷　京都　渡邊よれ子

海ばたに貝あさる子や初袷　兵庫　下岡松枝

花染の襦袢愛らしや初袷　鳥取　近藤しづ子

獵兵の手あて賜ふてや初袷　東京　伊庭政子

氣心も輕くなりけり初あはせ　東京　岩井すみ子

朝夕は未た薄寒し初あはせ　東京　松苗雪子

走る子のすそ輕けなり初袷　山形　阿部さゐ子

第廿八回作歌募集

題　繪葉書
選者　某公爵夫人
規定　繪葉書に認める事
優等の作歌は六月五日發行本紙上にて披露すべし

第廿壹回短文募集

題　故郷の山水
選者　編輯局同人
規定　一行十八字詰十五行以下
優等の作は六月五日發行の本紙上にて披露すべし

第九回俳句を募る

題　藤花
選者　編輯局同人
規定　繪葉書に認める事
優等の句は六月五日發行の本紙上にて披露すべし

第二回新體詩募集

題　隨意
選者　編輯局同人
規定　繪葉書に認める事
優等の作は六月五日發行の本紙上にて披露すべし

締切五月二十日限り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ヤツコ

女俳優マダム 川上貞奴

西洋みやげ

佛國巴里シャルコー病院ドクトルベルガー先生發明

此「ヤツコ」にて顏を洗へば西洋早化粧ゆへ日本流の薄化粧をせずとも顏をきれゐにし常に用ひれば白色人種の如く色を白く艶を出し顏の小皺をのばし皮膚を滑にあらすことなく白粉のつきをよくす論より證據皆さん洗つて鏡を見よ

◎定價一罐廿錢全國送貨四錢三罐美麗函入五十五錢同送貨十錢（此箱入には西洋男女化粧法の秘傳をくわしく書たる美本を添ゆ）

カール

此「カール」は佛國一流の女俳優「サラベルナ孃」愛用の毛養劑にして第一毛を生し、毛を良くし毛をフックリとしてくせと縮毛を直す、油を代用し毛のねばりとよごれを取りサラ〳〵として衣類をよごさず束髮婦人下げ髮の令孃方には無くつてならぬ發明品、島田、丸まげにはびんたぼを……フックリさせ髮形をよくすること妙

◎定價七錢分入廿二錢全國送貨四錢三袋入十二錢一袋入五錢同送貨二錢

東京神田區御成道田代町九番地　ヤツコカール日本一手發賣元

地球堂　田中丹治

●ヤツコ。カールとも全國有名小間物店賣藥店に賣捌あり若し無くば代價へ送貨を添へ發賣店へ注文すれば急送す

電話四千百三十九番

京橋銀坐一丁目　米村

商品案内

○銀側兩蓋之部　流行婦手形

價八圓半　瑞西石入両爪アンクル

價十圓半　同懸石巻上向アンクル

價十三圓半　同裏三枚懸石巻上向爪

價十四圓　米國中蓋付切天武向爪

價十七圓半　米國中蓋付上等品

○金側兩蓋之部　流行婦手形

價三十三圓　瑞西國十八金側御婦人持

價六十九圓　瑞西十八金側中形紳士持

價七十九圓　米國製十八金中形紳士持

價九十五圓　瑞西18金側形18紳士持

價百十五圓　米國製18金形18紳士持

東京市京橋區銀座一丁目　無代進呈　電話新橋（二三三一）

伊勢伊時計店

TRADE MARA

春夏用ショール

フラネルセル地　見本呈ス

旅行用毛布チリ

ヨケ外套車用膝

掛種々其他

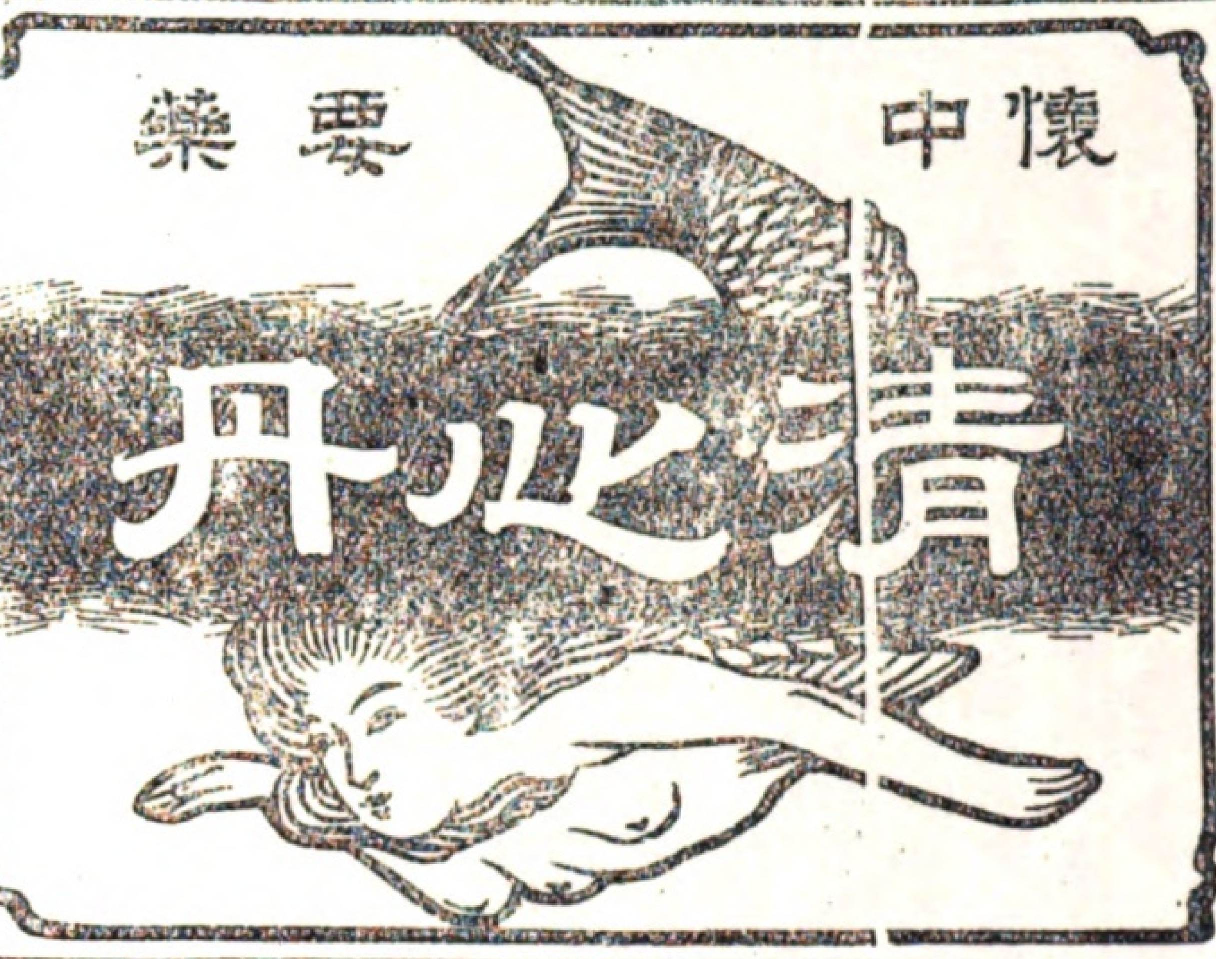
洋織物、裁縫物

シツト、敷物類

何なりと御座候

ツカタヤ

東京湯島切通下　電話下谷一三一四



新聞の新聞

◉時事新報　同新聞は英國大使が東邦協會に於ける演說を載せたり英大使曰く英國皇帝は亞細亞に三億の臣民を有し其内二億八千万は印度人にして其内九千四百万は男猛にして好戰的なる回々敎徒他の千二百万は佛敎徒なり余は英國臣民として東洋平和維持に關係を有す日英同盟は卽ち其目的に出づるなり然れども東邦の文明を進むる點に於て余は如何なる分け前を有するか之を言ふに躊躇す抑も世界の文明は東漸と云はんよりも東洋より西漸したるものにして我等の祖先が尙ほ野蠻蒙昧の域に在りし時東方諸國は既に文明の高度に達し居たり而して我國の偉人は東邦は東邦西邦は西邦と其不一致を歎ひたるも余は同意せず兩洋の間に同情の緊密の念存在せば東西の合同は必ず見る得べしと

◉國民新聞　文部大臣の演說に曰く元來男女は性の異ると同じく本分にも異なる處あり從て敎育の方針も異らざるを得ず女子敎育は良妻賢母を作るを以て目的とせざる可からず然るに動もすれば女子にも學問の必要ありと云ふ事を誤解して女子も男子と同じく學問を爲して社會に立ち獨立の事業を爲すを最上の目的と心得居るものあり女子の特別の事情あるものは例外なるが一般の本分としては妻となり母となりて家政を理し子女を敎養するは古今東西同一なり歐米に在りては生活の程度高まりし結果婚を成す能はず女子多く出づるにより此等の女子中には專門の職業を求め又は學問技藝を以て世に立たんとするものも出づるも是れ特別の例なれば一般の標準とはなり難し余も一概に女子に技藝職業を敎ゆるを否認するものにあらず婚姻を妨げず結婚後にも從事し得る職業には贊成す而かも女子敎育の大方針は良妻賢母を作るを一般の事なりと信ず歐米諸國にては前に述べたる事情より隨分獨立して專門の職業に從ふものあるが此の事情の異なる處に於けるものを採りて標準と爲す時は敎育の結果却て女子をして意外の不幸に陷らしむるに至るも知る可からず敎育者中には斯る誤解なきまでも例外なる女子の學者事業家の出づるあれば世間が之を稱揚し新聞紙が之れを揭載するより青年の女子は其の本分を忘れて妄りに學問に走るに至る敎育者は此の弊害に陷らざらんことを努む可し

◉毎日新聞　同新聞は家庭欄にてフレイベル會に於ける元良博士の口演を載せたり其要旨に曰く幼時自分の爲した事を思ふて見ると四歲頃の出來事は一つ二つは知つて居るが多く記憶に殘つて居るのは六歲以後の事であるさらば六歲以前の事は人の將來に影響をせざるかと云ふに決してそうでない意識して居る點はないかも知れぬが精神作用の基礎は此時代に置かれこれが將來の運命に多大の影響を與へる要するに幼時は精神活動の基礎をなすのである

◉讀賣新聞　桑木文學博士を訪問して其說を掲く題目は自然科學と題し丙午の迷信なぞは全く自然科學が普及して居らぬのである之が普及を計るには通俗的讀物が必要である殊に西諸國では科學が非常に發達して居るから其力に依つて精神現象をも說明して居る其が我國では未た幼稚であつて其普及と進步とを計らねばならぬ時代である又科學を重んずると文學的天才を傷ると云ふ人があるが決してそうでない科學は矢張り文藝と共に兩立し得らるるものと信ず

◉萬朝報　首相内相の訓示を讀むとの題下に論じて曰く首相は戰勝後國民が奢侈に流れ輕躁に走ると退守退嬰に傾くとを警め而して勤勉篤實の氣風を誘導せん事を促したり之れ當然の訓戒にて天下何人も異議なかるべし次に國民發達の淵源を敎育にありとし敎育と產業とを二大政綱とせしは大に稱す可きも之を具體的に明示せざるは遺憾なり次に内相は法規の範圍内に於て自ら政事すべき事繁文縟禮を廢すべき事民官經濟の發展を計る事を陳ぶ其訓示に異彩あるを認む云々

登録商標

羽おり紐　帯しめ

●二十世紀の婦人諸姉に告ぐ！

實地活用　柔術極意

通信敎授速成會員募集　本會が永年苦心慘憺の結果案出したる方法に依り三週間にて達人となるを保證す

●規則書郵券二錢送れ　東京市下谷區龍泉寺町

帝國尚武會

目

有色友禪半ゑり帶揚類

縫刺絞り

○夏季用ショール　都花織　旭織　縮緬刺縫類

○新柄染模樣　帶片側　丸帶　博多伊達巻

○新模樣け出し地　絞り兵兒帶地　ネキタイ

○有功すゝめ形　ゑり治形　紀念形まげ入

○受賞

夏季節柄取揃

新橋竹川町十二番地　電話新橋二〇二七　ゑり治本店

神田表神保町壹番地　電話本局九五二番　ゑり治支店

新橋際博品館内階下　ゑり治出張店

補血良劑

ヱムポール無味肝油

補血劑として稀世の卓効を有する新藥にして僅かも惡臭を存せざるのみならず飲用に適する香氣を有するを以て婦女子も尙喜びて服する事を得べし

東京日本橋區本町四丁目

合名會社島久商店

（電話本局特四九一　電話本局三〇一八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夏物大賣出し

五月一日より

夏物新柄大賣出し仕候
●懸賞を以て募集致候浴衣地圖案の内優等當撰の珍柄を染めたる特製品賣出し仕候
見切反物日々澤山取揃へ置き申候

よせきれ

東京日本橋
白木屋 呉服洋服店

夏物新荷到着

横濱辨天通四丁目
八木屋商店
電話三〇八番

見よ！大發展大擴張の婦人世界！

大好評　婦人世界　實用專一

五月三日　發行 毎月一回　第五號　一冊拾五錢 郵税一錢五厘 半年分九拾錢 郵税共 一年一圓七拾五錢

▲婦人の日常生活法……村井弦齋
◎婦人は何が一番大切か◎朝は如何に床を離るべきか◎いろいろの惡ひ習慣◎いろいろの善い習慣◎夜具は如何に疊むべきか◎厠には何時行くべきか◎齒は如何に磨くべきか◎顔は如何に洗ふべきか◎洗面水は何を交ふべきか◎手拭は如何に使ふべきか◎鼻は如何に洗ふべきか◎石鹸と洗粉とは何れが好きか

▲女學生に家事を見習はしむる法……星常子・嘉悦孝子
△妻君重寶記　▲便利なる西洋家具
▲繼母の鑑……菊池博士夫人・樂石生
△女子の天職……理科大學長 理學博士 箕作佳吉
▲婦人の衛生……醫學士 伊庭秀榮
△家庭菓子製法　▲生花指南
▲嘘つく子供の所置……大村仁太郎
△莊田平五郎氏の家庭……古月庵
▲家庭料理……赤堀峯吉・石井泰次郎
△小兒の食物……ドクトル 加藤照麿

▲女學生墮落の眞相……松齋
(十二頁の長篇女學生父兄必讀)
△最新流行の婦人靴　▲新形洋傘
▲投身せる一婦人……ちどり
△あゝ可笑しい……鶯亭金升
▲出産時の心得　△家庭おほえ帳……女子大學監 麻生正藏
△男女學生の交際
▲美人となる法……みどり
▲女子不可見記……鬼門外史
△小説=秋子……長谷部湘雨

▲育兒問答　△衛生問答

特別附録
諷刺悲劇 女道樂 脚本 村井弦齋
懸賞 讀者文藝

口繪
◎久邇宮妃殿下と若宮姫宮殿下◎東伏見宮邸内日本婦人衛生會◎各女學校卒業生總代と製作品◎華族女學校及女子大學卒業生◎跡見女學校卒業生幷に敎職員

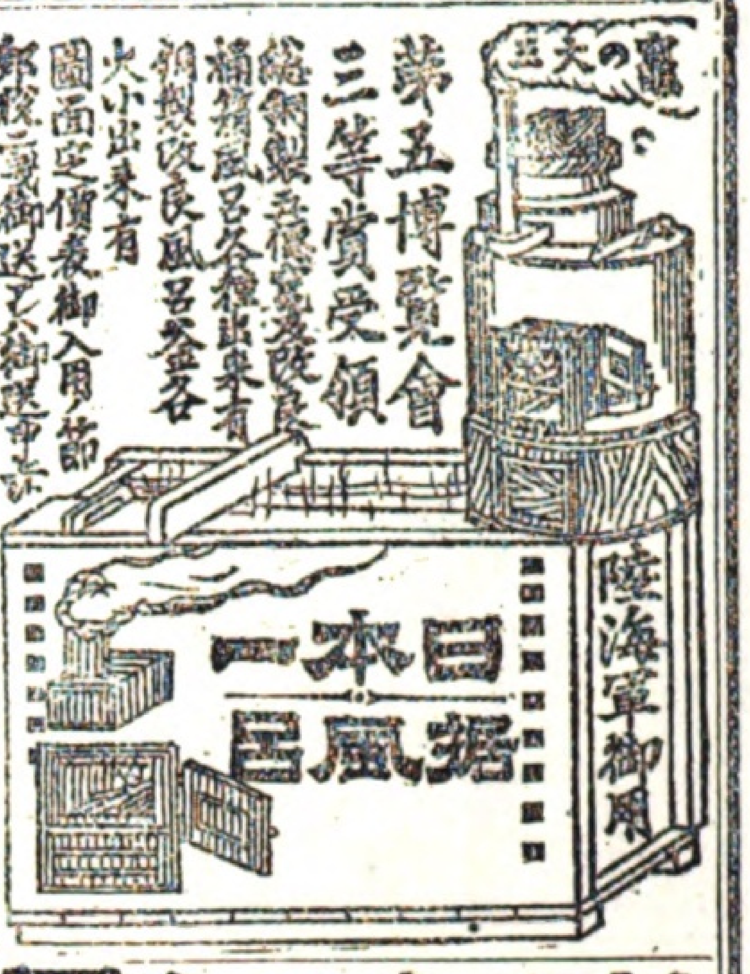
彩色石版
◎藤見……中澤弘光
◎花と小犬……跡見花蹊

繪手本
◎杜若……跡見花蹊
◎躑躅……中澤弘光

發兌元　東京市京橋區南紺屋町十二番地　實業之日本社　(電話新橋八七四番)　賣捌 各地書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

陸海軍御用



第五博覽會
三等賞受領
總銅製[illegible]
桶類風呂各種出來有
銅製改良風呂釜各
大小出來有
圖面定價表御入用ノ節
郵税[illegible]御送呈ス

東京日本橋區通油町十九（電話浪花一四六番）
製造發賣元　銅器物問屋　南部鐵瓶販賣　石川商店
代理店　京都柳馬場　春井喜助

美人ムスク石鹸

此全形ナキ物ハ模擬ナリ
美人ムスク白粉

輸入元　東京市日本橋區新和泉町　桑原花生堂

西洋教育家肖像　並説明
文學士　下田次郎氏撰　肖像二十四枚　定價六十錢郵税共
發行所　東京市日本橋區本町三丁目　金港堂書籍株式會社

各國帝室及ヒ王家御用
ネッスレスミルクフウド

歐洲諸國及本邦名醫ノ讃辭ヲ辱フセル者ナリ、小兒、病者又平素不消化ニ苦ム者ニ適當ナル最良滋養食物ナリ。
最モ盛ニ藥舗洋酒食料品店ニ於テ販賣ス

めをはぐしがミ

●色白く艶をだす
松澤ポーサン石鹸（大形一個廿錢　小形一個十錢）
●近頃にせ物多し御買求の節は商標及松澤名義に御注意
●當市内は勿論到る所賣藥小間物化粧品店にて販賣す
東京本石町四丁目　芳香藥種問屋　ムスク香水本舖　松澤常吉

四月一日より
第十一回新柄陳列會
凱旋紀念桃山式新製品陳列
寄せ切れ見切り反物大賣出し
意匠參考時代品陳列
懸賞圖案江戸褄模樣陳列

東京日本橋區駿河町
三越呉服店

新學期開始

大日本淑女學會

高等女學校程度講義錄發行

▲事情があつて高等女學校に入る事の出來ぬ人の爲めに『女學講義錄』を發行し僅に二ヶ年間に高等女學校程度の教育を完全に正則に授けます
▲世間の講義錄は乾燥無味で面白味がありませんが、本會講義錄は此點に注意し、諸學科の講義何れも面白く極めて分り易いようにし、且つ有趣有益なる數十頁の雜錄の外に、美くしい家庭小說を每號附錄とします

▲本會の講師は皆な斯道專門の大家で且つ教育に充分經驗のある方のみです、講義は只親切と云ふ事を主として懇篤に説いてありますから本會員は親しく講師の膝下に在りて講義を聞かれると同じ事です
▲本會講義錄は右に述べた通り最も完全したものでありますが、會費は極めて少額で都合一ヶ月の遊學費で優に全期を終はる事ができます

◎會員大募集——目下入會の最好機なり　四月廿四日第一號發行

批評一班

▲中央新聞評　▲毎日新聞評　▲二六新聞評　▲日々新聞評　▲都新聞評　▲報知新聞評

講述何れも平易にして親切を極めたれば初學の講習に最も可也
米國の通信教授法を參酌せるもの文字平易説明懇篤を盡くせり
高等女學校の全課程を講了すべく各講述者の態度頗る着實なり
講義はすべて平易と親切とを勉めて毫も難解の憂なきに似たり
講義平明用意親切なれば數多き女學雜誌中一頭域を拓き得可し
講義錄多しと雖も實益と趣味と併せ有する事斯くの如きは稀也

上揭の批評を御覽にならば本會講義錄の眞價がお分りになりませう

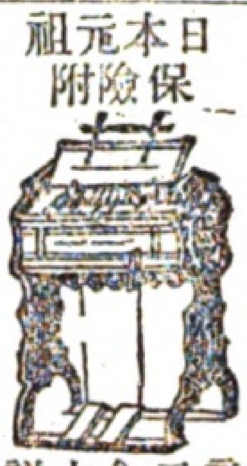
▲本會規則書▼
端書にて申込あれば直に郵送す可し

◎東京神田南甲賀町
大日本淑女學會
電話本局三千四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

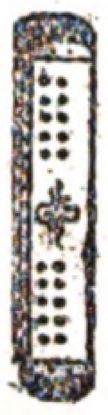
東京市麹町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局（特）三、三〇〇番 四一一番 三七一番 一〇二番
一定期預金　年五分
一當座預金　日歩七厘
一特別當座預金　日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番
定期預金　六ヶ月以上　年五分五厘
當座預金　百圓に付日歩　八厘
特別當座預金　同日歩　壹錢壹厘


日本元祖 保險附
音律正確 西川風琴
金十八圓以上金二百五十圓迄
●郵券二錢にて詳細目錄進呈

舶來 手風琴
澤山新荷着
金三圓廿錢 三圓半 四圓 四圓半 五圓 五圓半 六圓 六圓半 七圓 七圓半 八圓 拾圓

舶來 バイオリン
金拾四圓以上 ●新着 金七十圓迄
澤山着荷


ハモニカ
●弓箱外附屬品一式
◎凱旋歡迎 樂隊用樂器各種廉賣
●紙腔琴 本舗 東京銀座三 十字屋

スコット乳菓
咽喉諸症肺炎其他貧血病ニ着大ノ効驗アり早ク試賜ヘ

說明書ハ横濱郵便局私書函第五十八號
スコツト乳菓部へ御申込アレバ無代價ニテ進呈ス
代理店 横濱市山下町廿八番館
米國貿易商會

勉強之魁
●和洋造花化粧品小間物類
●宴會裝飾用造花類
●優等最新リボン徽章類
諸官省會社 各女學校 御用
本郷區本郷貳丁目貳六
宮部造花店

高等香油
チエリーオーイル
紳士貴婦人令孃用
本品は無色透明さらく\として水の如く馥郁たる香氣は恰も香水に異ならず故に紳士は勿論、貴婦人令孃方に目下大に流行せる彼の束髪用としては非常に高評を博しつゝあり
定價八十五錢、四十五錢、廿五錢（送料各十錢）
實捌所は全國有名なる小間物化粧品店にあり
發賣元 東京日本橋區本町二丁目 高橋初次郎 特電四一三番

巴里の精粹 新荷着
●貴婦人用春夏帽子
●小兒用帽子及上衣
●キヤンバース數種
●洋傘及手袋沓下類
●敷布用タオル切地
●精巧舶來人形各種
●洋花。リボン。レース。流行コム櫛。香水。石鹼。白粉其他西洋小間物一式
東京市京橋區銀座三丁目
伊勢與 三枝小賣店
電話新橋三九二七

婦人夏肩掛其他編物用細羊毛糸
アイスウール
特約販賣
東京麹町區麹町拾丁目 鶴岡糸店 電話番町四百參拾四番
東京市京橋區南傳馬町三丁目 鶴岡糸店 電話本局一千七百四十二番

袴之親玉
東京日本橋區長谷川町 卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
本郷區本郷五丁目 小賣部 美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店 電話下谷一四一五番
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

醫院案内

●水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千八百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

内科小兒科 特に吸呼器病
麹町はやぶさ町二十八番地
ドクトル 川瀬元九郎
電話番町八二二番

婦人科産科榊病院
東京麹町三番町廿三（電話番町三九五）
院長 醫學博士 榊順次郎 毎日午前診察
副院長 醫學士 久保徳太郎 毎日夕刻診察

産科婦人科専門 ドクトル 樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す
二各科診察從前の通
東京病院
芝愛宕町 新二六四 同二六二〇

◎◎婦人科小兒科専門
午前宅診 午前往診
東京市麹町區飯田町四丁目九
女醫 鷲山彌生

●産科婦人科
●京橋區南鍋町一の一角
●朝 八時より正午 ●夕 五時より八時
醫學士 伊庭秀榮

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
峰内科醫院
院長 ドクトルメヂチーネ 峰秀世

山口眼科病院
東京神田錦町參丁目 電本七一五
診察 午前午後 入院 隨時
院長 醫學士 山口秀高

内科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診 午後往診
板垣亨
電話本局貳千九百七十番

産科婦人科
東京日本橋區濱町三丁目七番地
楠田病院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外　弘報堂
神田千代田町　博報堂
京橋區南紺屋町　一星社
京橋區南鍋町　秀逸堂
日本橋區上槇町　萬年社
日本橋區箱崎町　春風舍
京橋區宗十郎町　正路喜社
京橋區日吉町　帝國通信社
同區瀧左衛門町
同區南鍋町
京華社支店
廣告社

洗用ワツセル

◎此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◎用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物ヶ凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脫ますシヤツの如きは（拾貳匁）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗ふ用に揉ずに洗べしたれば玉子で洗た樣になります又食器其他臺所道具を拭き掃除にも有効です

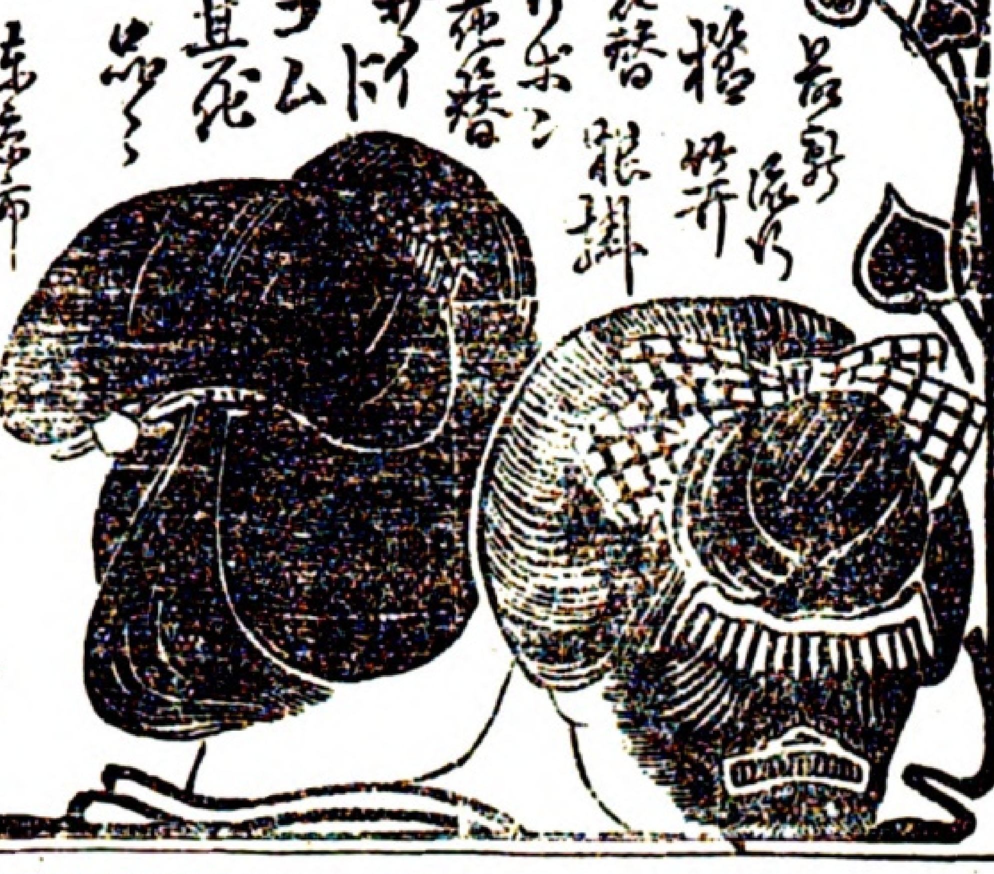
定價　拾貳匁入　金拾五錢　六匁入　金八錢　袋入二錢

芳香御肌洗粉　ワツセル

◎此肌洗粉ワツセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり

定價最上　金七拾五錢　普通　五拾錢　參拾錢　拾七錢
　金貳拾錢　六錢　三錢

東京市京橋區三十間堀三丁目　電話新橋一七一二
英國製ワツセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワツセル製造元
三友商會



最新流行　髷形　根掛　リボン　花簪　サイド　コム　其他色々

東京市神田區須田町十三番地
小間物商　三ツ井屋　電話本局二〇七六番
支店（新橋勧工場博品館内　神田勧工場東明館内）

煉香油　パール

婦人用　紳士用

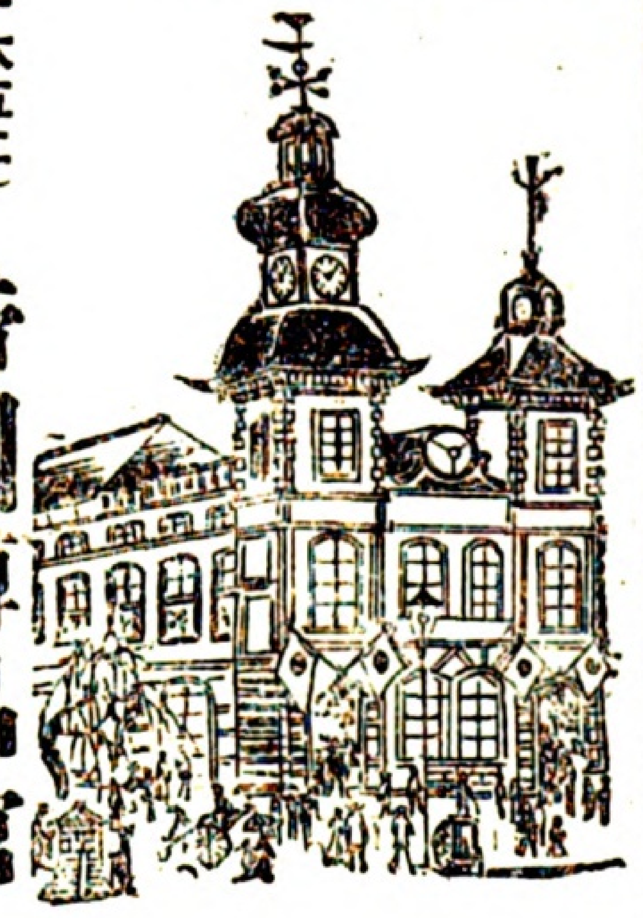
歐米化粧品輸入商
東京清水町一　電話浪花一〇一一
平尾分店
香油ゴールドオイル發賣元

日本第一の大勸業場

（本場の特色）

◎あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣し御買上品は市内無賃て配達致します
◎御進物用物品切手を發賣して御望の品と引換ます

東京新橋角
電話新橋（一六五二・二二六二）

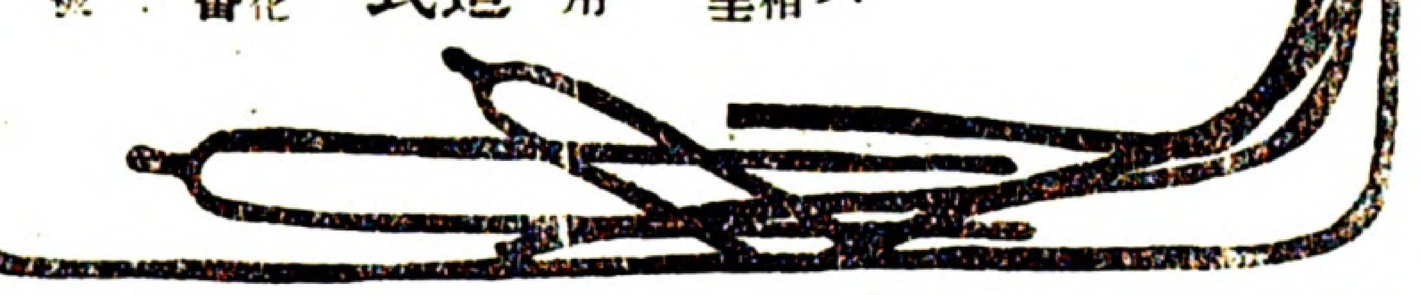


帝國博品館

ムスク香水

（大瓶一圓・中瓶六拾五錢・小瓶二十五錢）
○本品は芳香の永く保つ點に於て穎る高評なり

東京日本橋區本石町四丁目
ホーサン石鹼本舗
本舗　松澤常吉
（電話本局四拾五番）



美術造花材料

斬新材料
舶來　ホワイト
薄絹シホン　リープス

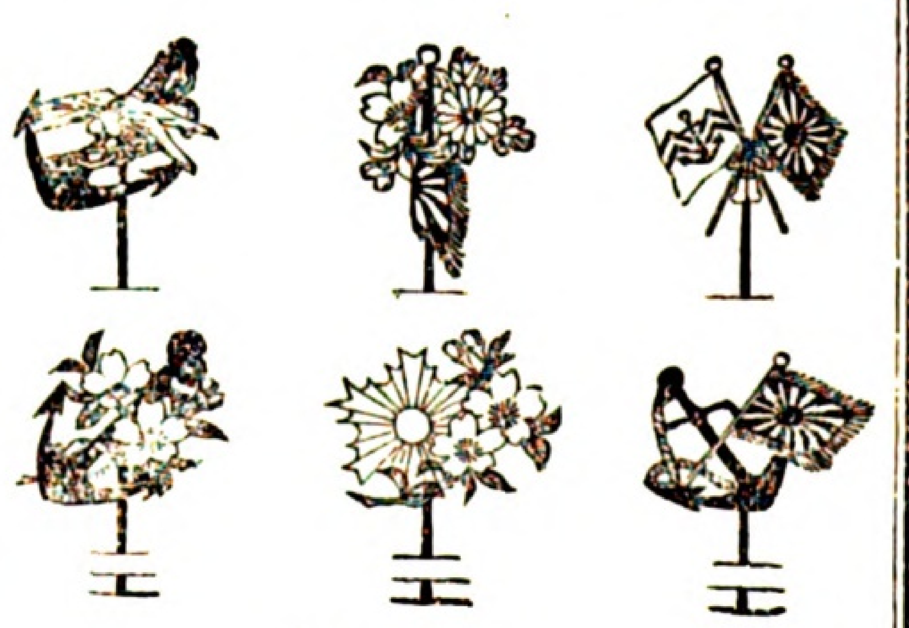
郵劵五錢御送付相成候はゞ見本進呈可仕候

各女學校御用
附屬品幷に造花器械類一式

東京市日本橋區横山町一丁目十六番地
天野卯兵衛　電話（長）浪花一六四三番

營業目錄御入用なれば愛國婦人を見てと御書添へ御申越被下度候

戰勝紀念ピン



銀金の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の淑女たちはその各胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價（純銀製）一個　金三十五錢以上
餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝しあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮内省御用達
東京市下谷區池の端仲町
玉寶堂
電話下谷（特九六五番・一二四四番）

全冊讀切

小杉天外作　緣不緣　梶田半古畫

紙質小數五百有餘頁　價包金料壹金拾錢
▲小說體新式脚本なり
▲脚本體寫實小說なり
▲日露戰爭後の活きたる哀史なり

東京日本橋　春陽堂

好評にて版を重ぬ

魔風戀風　全三冊　實價各金六十錢　前篇十四版、中篇十二版、後篇十版、郵稅各金八錢
紫　前篇（四版）實價六十錢　後篇實價七十錢　郵稅八錢
新夫人（六版）實價六十錢　郵稅金十錢

最上醬油元祖

釀造元　下總銚子町　濱口儀兵衛

荷扱所　東京北新堀七番地（電話浪花二五九四）　濱口支店

○宮内省御用達也
○開業二百六十二年
○品質の吟味嚴重也
○風味他品に超絕す
○日本一の醸造高也

大阪西長堀南通一丁目　電話（西二〇五）
濱口出張店

明治三十九年五月五日發行（毎月五日二十日二回）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　東京麹町　愛國婦人會　印刷所　秀英舍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN